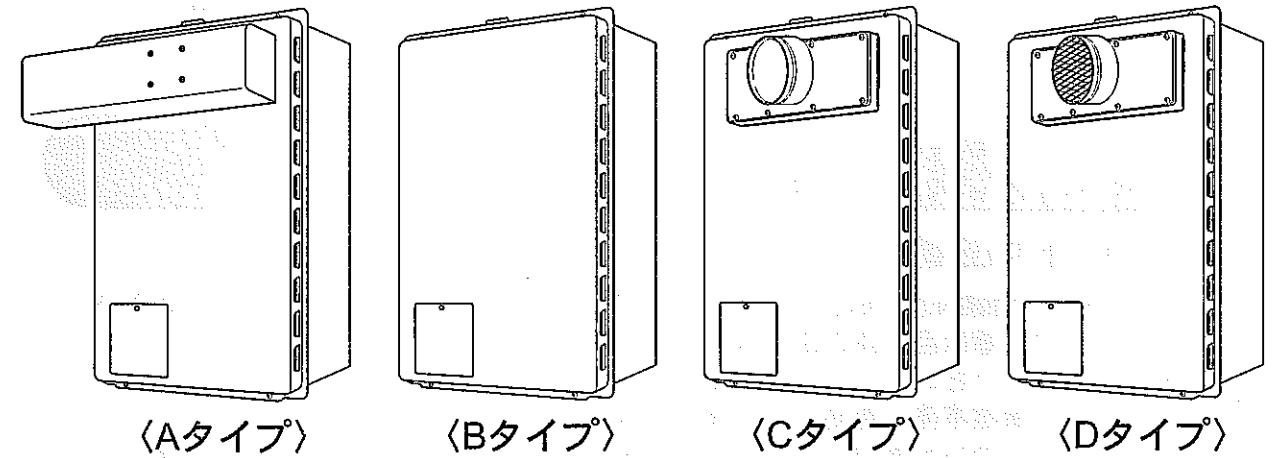


## ナショナルガス給湯機付ふるがま

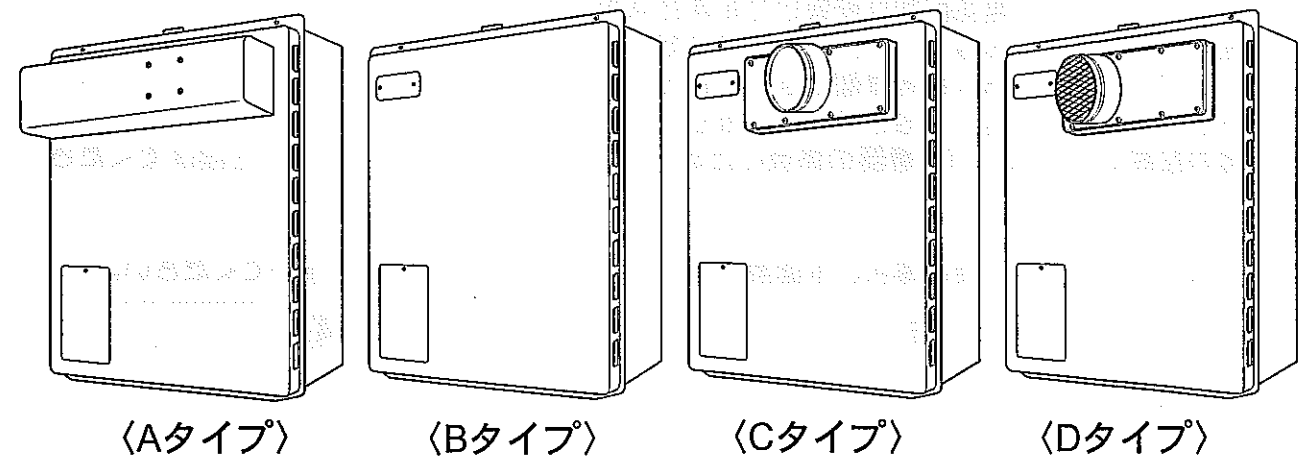
	自動24号	自動20号	自動16号	全自動24号	全自動20号	全自動24号	全自動20号	タイプ	設置方式
	浄化機能付								
品 番	GJ-C24T1	GJ-C20T1	GJ-C16T1	GJ-F24T1	GJ-F20T1	GJ-K24T2	GJ-K20T2	標準	屋外式
	GJ-C24A1	GJ-C20A1	GJ-C16A1	GJ-F24A1	GJ-F20A1	GJ-K24A2	GJ-K20A2	A	パイプシャフト直付設置 アルコーブ設置形
	GJ-C24B1	GJ-C20B1	GJ-C16B1	GJ-F24B1	GJ-F20B1	GJ-K24B2	GJ-K20B2	B	パイプシャフト直付設置 後方排気延長形
	GJ-C24C1	GJ-C20C1	GJ-C16C1	GJ-F24C1	GJ-F20C1	GJ-K24C2	GJ-K20C2	C	パイプシャフト直付設置 前方排気延長形
	GJ-C24D1	GJ-C20D1	GJ-C16D1	GJ-F24D1	GJ-F20D1	GJ-K24D2	GJ-K20D2	D	パイプシャフト ト扉内設置形

## 工事説明書 (折り込み)

### GJ-C24・F24シリーズ



### GJ-K24シリーズ





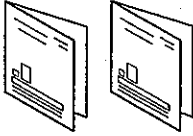
- 別添付の工事説明書の品番はGJ-C24T1、GJ-F24T1、GJ-K24T2となっておりますが、上記の品番と共用です。
- ただし、一部内容が異なりますので、この折り込みをご参照
- この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから行なってください。

- 本説明書はGJ-C24シリーズで説明していますが、基本的にGJ-K24シリーズと共通です。  
また、各シリーズで異なる項目は、本文中に各々シリーズに分けて説明してあります。


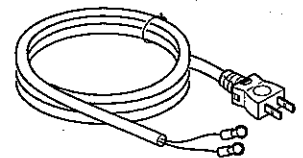
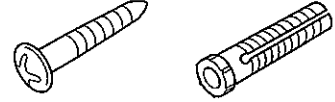
## 同梱部品の確認

- 標準タイプに対して下記部品が追加、廃止されています。

### ■追加部品

M4トラスねじ：4本 排気トップ取り付け用 Aタイプ 	M4ねじ：4本 排気アダプター取り付け用 Bタイプ 	取扱説明書折り込み：1 工事説明書折り込み：1(本書) 
---	--	---

### ■廃止部品

アース線：1個 	電源ケーブル：1個 	木ねじ：4本 カールプラグ：4個 
--	--	---

## 機器の設置

### ■パイプシャフト内設置について

- パイプシャフトの前面扉内の上部および下部に各々100 mm程度の開口部を設けてください。
- パイプシャフトの設置は自治体により異なる規定を設けている場合があります。  
設置前に確認してください。
- 電源は原則として機器本体に直結とし、専用の電源ブレーカーを設けてください。  
やむをえず電源コンセントを設ける場合は、パイプシャフト内のできるだけ低い位置  
(200~300 mm)に設置してください。
- 電気メーターへの電気配線は硬質ビニルまたは電線管に納めてください。
- 機器の配線ケーブルはモール内に納めてください。
- パイプシャフト内および内壁面には、配線用ボックスを使用しないでください。  
ただし防爆構造を施したものは、この限りではありません。
- 扉内設置のものは、ガス機器の燃焼のために排気筒の断面積以上の給気口を設けてください。

パイプシャフト設置の場合、前面扉の上下に各々、下記の開口部を設けてください。

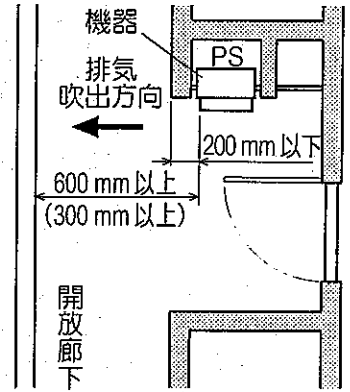
対象品番	開口部面積
Aタイプ Cタイプ Dタイプ	100 cm <sup>2</sup> 以上
Bタイプ	100 cm <sup>2</sup> 以上 自治体によっては「パイプシャフト正面の面積の5%または500 cm <sup>2</sup> の大きい方とする」地区もあります。

## 機器の設置

### Aタイプの場合

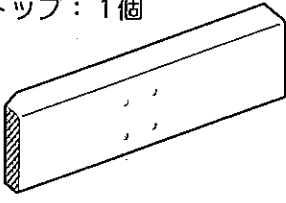


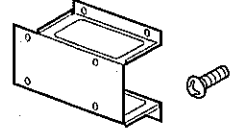
この機器は、パイプシャフト直付設置方式のアルコーブ設置用です。

- 機器の設置については、この折り込みと別添付の工事説明書をお読みになってから指定された工事を行なってください。
- 直付設置用金枠(別売品)を使用し、取り付けてください。
- 排気吹出し口を開放廊下の壁面から200 mm以下になるように設置してください。
- 右図の寸法600 mm以上は、可燃物からの隔離距離です。  
また( )内は防熱板を取り付けた場合および「不燃材料で有効に仕上げをした建築物」との寸法を示します。



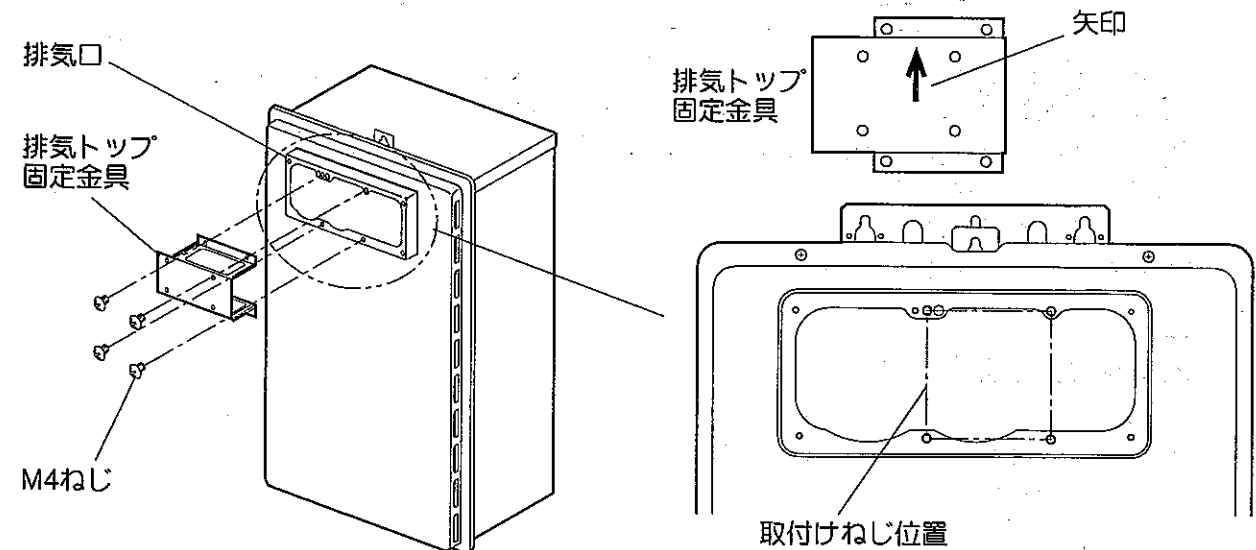
### ■開こん

下記の同梱部品を使用します。

排気トップ：1個 	M5ねじ：4本 機器取り付け用 	M4トラスねじ：4本 排気トップ取り付け用 	M4ねじ：4本 排気トップ固定金具：1個 
---	---	---	--

### ■取付手順

1. 通信ユニットを取り付ける  
(コードレスリモコンをご使用になる場合のみ  
工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 24ページ、GJ-K24シリーズ 24ページ)
2. 別添付の工事説明書の項に従ってパイプシャフト内に設置する  
(工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 14ページ、GJ-K24シリーズ 14ページ)
3. 電気配線工事を行なう  
(工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 21ページ、GJ-K24シリーズ 21ページ)
4. 排気トップ固定金具の取り付け
  - 同梱の排気トップ固定金具をM4ねじ4本を使用して排気口に取り付ける
  - この時排気トップ固定金具は矢印表示が上になるよう取り付け。



# 機器の設置

## 5. 排気トップの取り付け

〈GJ-C24A1・GJ-C20A1・GJ-C16A1・GJ-F24A1・GJ-F20A1の場合〉

- 排気吹き出し方向を決定して排気トップを排気口の排気カバー固定金具に取り付ける (M4トラスねじ4本)
- 別添付の工事説明書の項 (P 14) に従ってパイプシャフト内に設置する (M5ねじ4本)
- 電気配線工事を行なう

〈GJ-K24A2・GJ-K20A2の場合〉

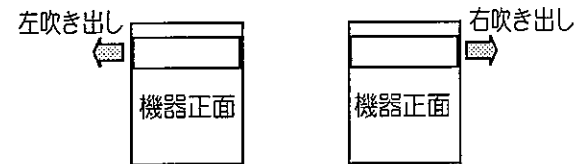
- 排気吹き出し方向を決定して排気トップを排気口の排気カバー固定金具に取り付ける (M4トラスねじ4本)

[左吹き出しの場合]

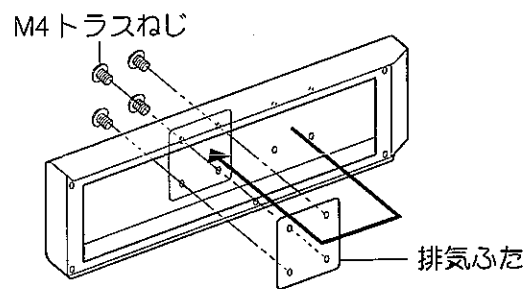
同梱の排気トップのまま取り付ける

[右吹き出しの場合]

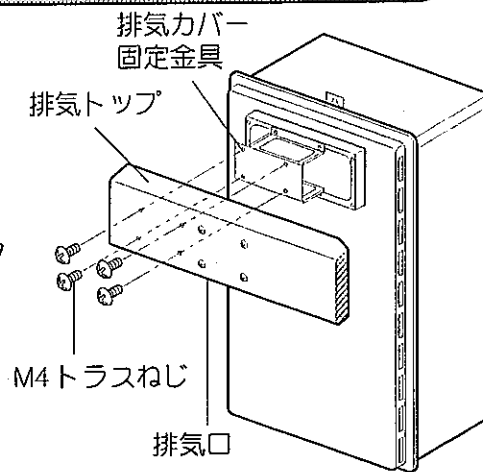
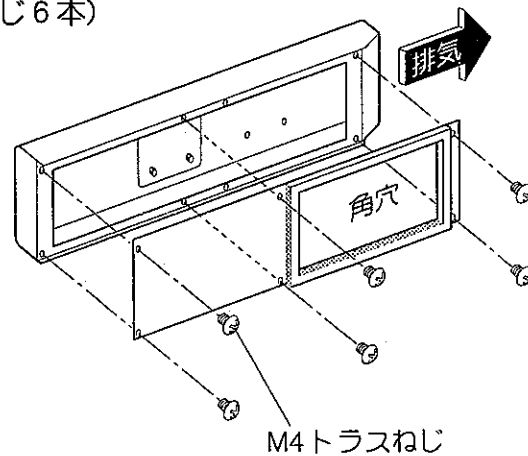
- ① 排気トップのカバーを取り外す (M4ねじ6本)



- ② 排気トップ内の排気ふたを取り外し、反対側の取り付け穴に取り付ける (M4トラスねじ4本)



- ③ ①で取り外したカバーを排気トップの排気側にカバーの角穴がくるように取り付ける (M4ねじ6本)



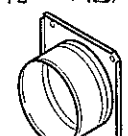


## Bタイプの場合

この機器は、パイプシャフト直付設置方式の後方排気延長設置型です。

- 機器の設置については、この折り込みと別添付の工事説明書をお読みになってから指定された工事を行なってください。
- 直付設置用金枠 (別売品) を使用し、取り付けてください。

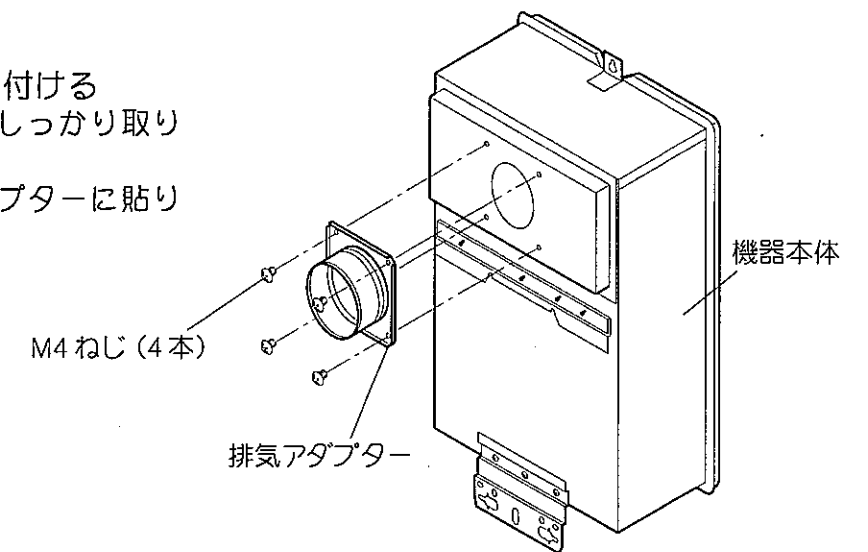
## ■開こん

下記の同梱部品を使用します。

排気アダプター (パッキン付: 1個)	M5ねじ: 4本 機器取り付け用	M4ねじ: 4本 排気アダプター取り付け用
		

## ■取付手順

1. 排気アダプターを取り付ける  
排気が漏れないようにしっかり取り付けてください。  
※パッキンは排気アダプターに貼り付けられています。

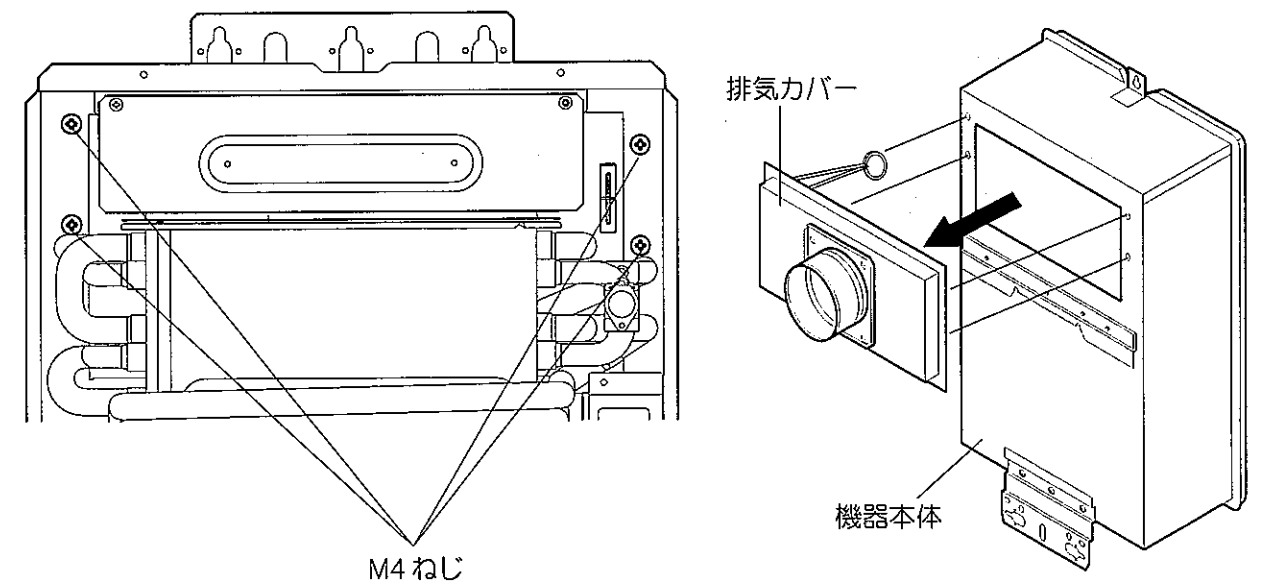


2. 通信ユニットを取り付ける  
(コードレスリモコンをご使用になる場合のみ  
工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 24ページ、GJ-K24シリーズ 24ページ)
3. 別添付の工事説明書の項に従ってパイプシャフト内に設置する  
(工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 14ページ、GJ-K24シリーズ 14ページ)
4. 電気配線工事を行なう  
(工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 21ページ、GJ-K24シリーズ 21ページ)
5. 排気筒を取り付ける (11~13ページ 排気筒の設置参照)

## ■機器の取り外し、再取り付け

次の手順で機器本体から排気筒及び排気アダプターを取り外してください。

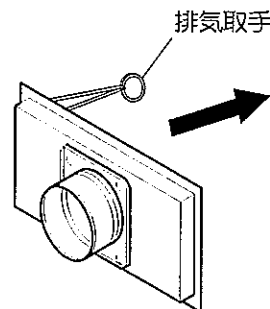
1. 機器のフロントカバーを取り外す (M4ねじ4本)
2. 機器内部の排気カバー取り付けねじを外す (M4ねじ4本)  
排気筒及び排気アダプターが排気カバーと一体で外れます。



# 機器の設置

3. 配管、配線を取り外し、直付設置用金枠の取り付けねじを外して機器本体を前に引き出す

※取り付け時は、この逆の作業を行なってください。その際は排気カバーに取り付けてある排気取手を使用すれば排気カバーを機器に引き寄せることができます。



## Cタイプの場合

この機器は、パイプシャフト直付設置方式の前方排気延長設置型です。

- 機器の設置については、この折り込みと別添付の工事説明書をお読みになってから指定された工事を行なってください。
- 直付設置用金枠（別売品）を使用し、取り付けてください。

### ■開こん

下記の同梱部品を使用します。

M5ねじ：4本  
機器取り付け用



### ■取付手順

1. 通信ユニットを取り付ける  
(コードレスリモコンをご使用になる場合のみ  
工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 24ページ、GJ-K24シリーズ 24ページ)
2. 別添付の工事説明書の項に従ってパイプシャフト内に設置する  
(工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 14ページ、GJ-K24シリーズ 14ページ)
3. 電気配線工事を行なう  
(工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 21ページ、GJ-K24シリーズ 21ページ)
4. 排気筒を取り付ける (11~13ページ 排気筒の設置参照)

## Dタイプの場合

この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式の扉内設置用です。

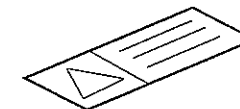
- 機器の設置については、この折り込みと別添付の工事説明書をお読みになってから指定された工事を行なってください。
- 直付設置用金枠（別売品）、扉内設置用取付枠（別売品）を使用し、取り付けてください。

### ■開こん

下記の同梱部品を使用します。

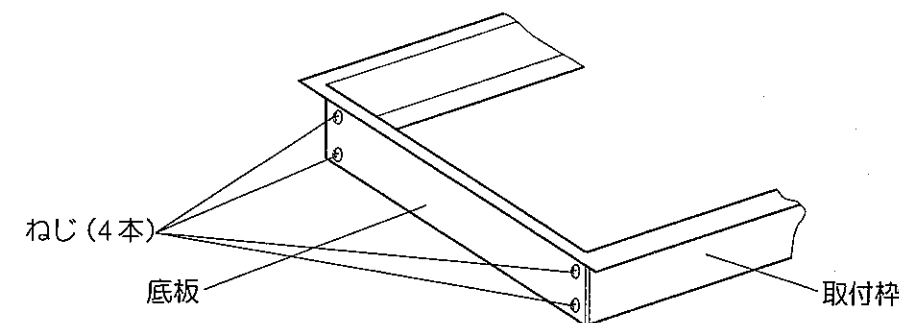
M5ねじ：4本  
機器取り付け用

やけど注意ラベル：1枚

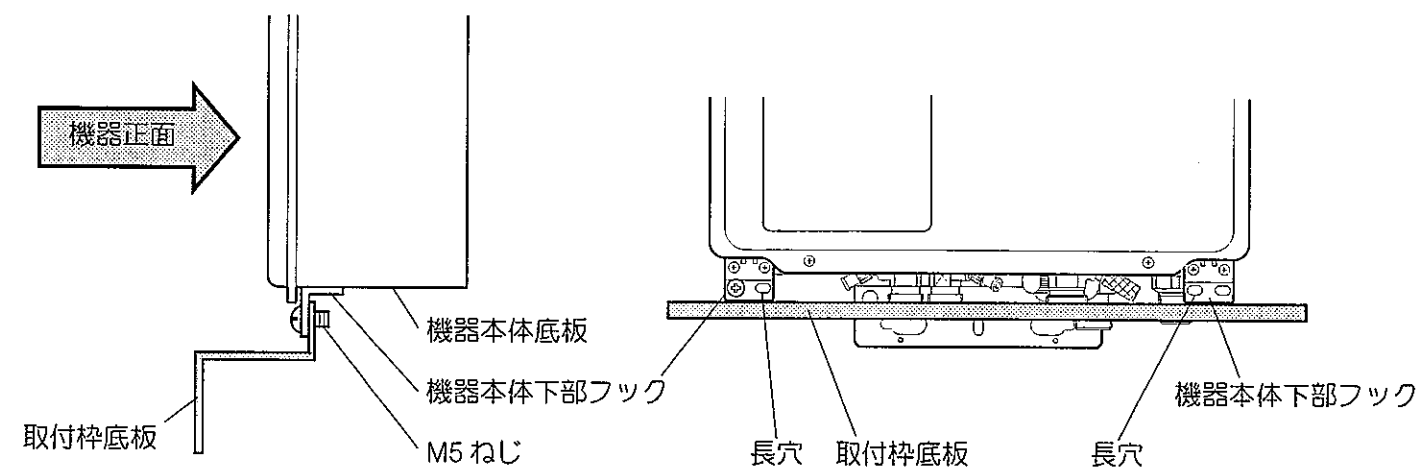


### ■取付手順

1. 扉内設置用取付枠の底板を取り外す（ねじ4本）

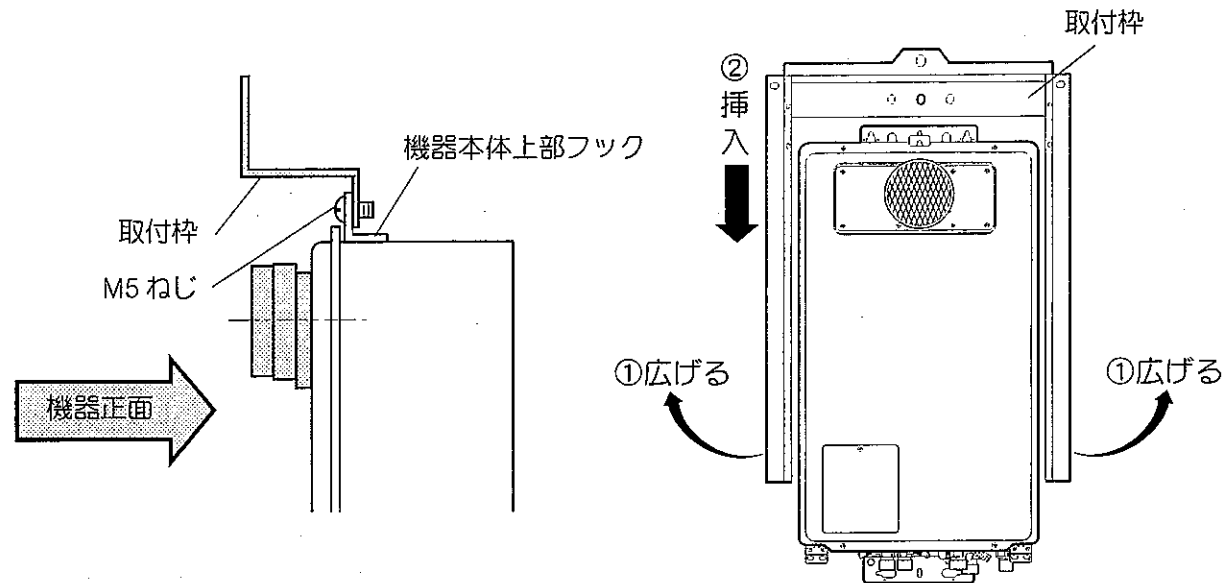


2. 扉内設置用取付枠の底板を機器本体下部のフックにM5ねじ(2本・付属品)で取り付ける  
●フックの長穴の外側を使用してください。(左右M5ねじ1本ずつ)

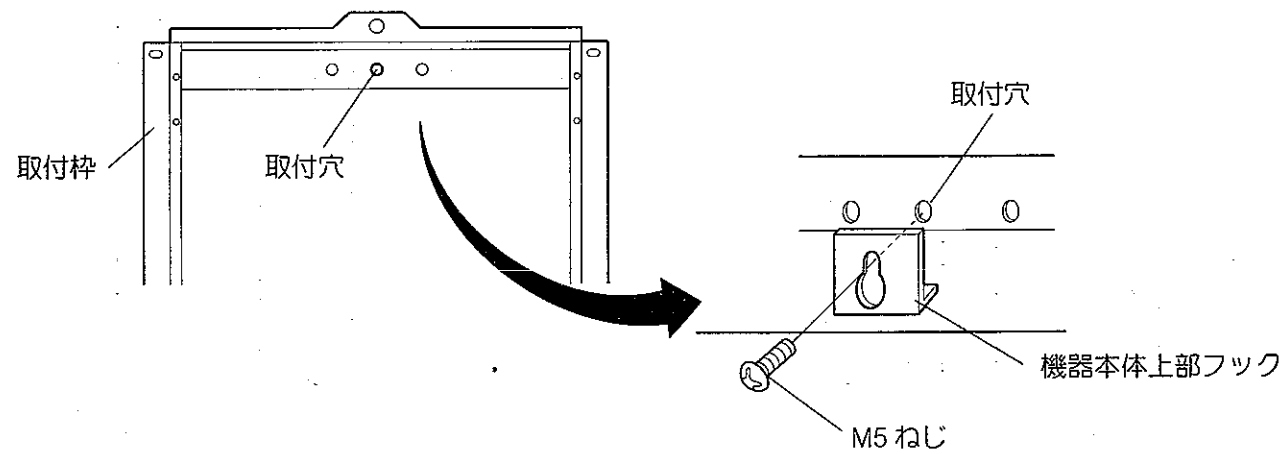


# 機器の設置

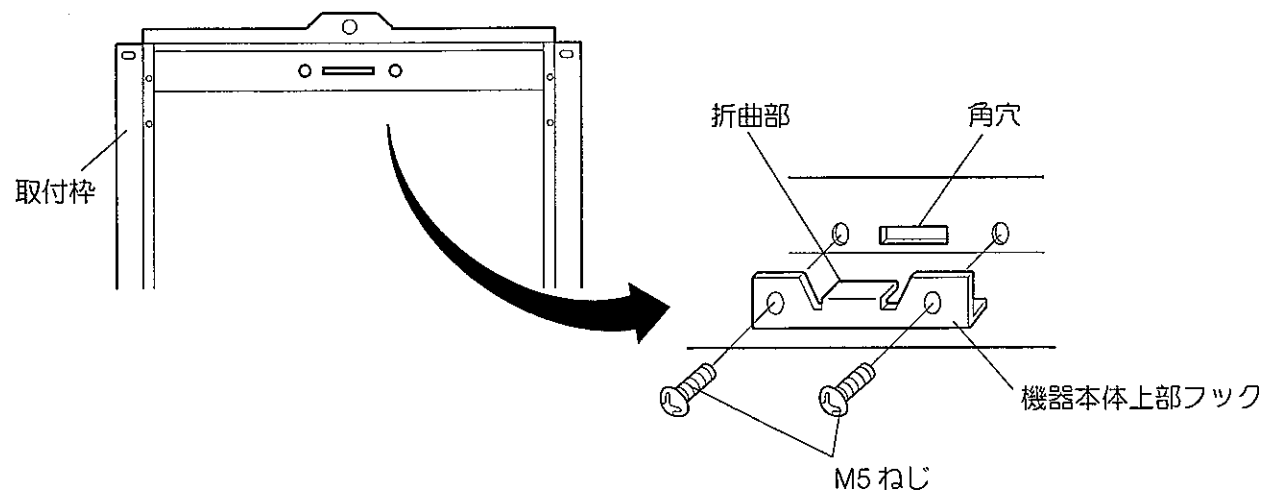
3. 扉内設置用取付枠を機器本体上部から差し込み機器本体上部フックをM5ねじ(付属品)で取り付ける  
この時、扉内設置用取付枠下部を広げるようにして差し込んでください。



〈GJ-C24D1・GJ-C20D1・GJ-C16D1・GJ-F24D1・GJ-F20D1の場合〉  
M5ねじ(1本・付属品)で取り付けてください。



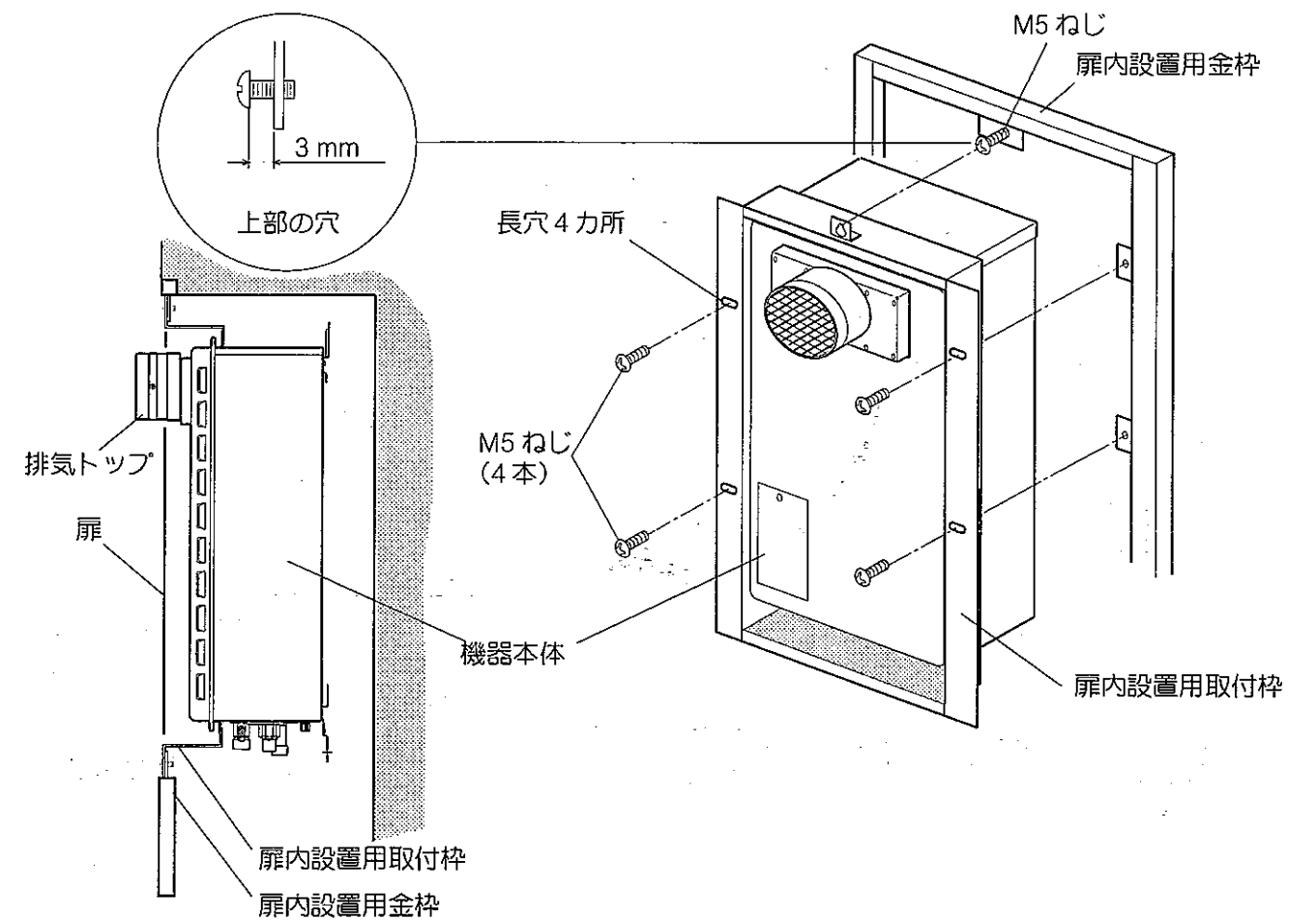
〈GJ-K24D2・GJ-K20D2の場合〉  
機器本体上部フックを扉内取付枠の角穴に差し込み、M5ねじ(2本・付属品)で取り付けてください。



4. 扉内設置用取付枠の底板をもとどおりにねじ(4本)で締め付ける  
5. 通信ユニットを取り付ける  
(コードレスリモコンをご使用になる場合のみ  
工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 24ページ、GJ-K24シリーズ 24ページ)

## ■扉内設置用金枠への取り付け

1. 扉内設置用金枠上部のねじ穴にM5ねじ(1本・付属品)を3mm程度浮かして取り付ける
2. 扉内設置用取付枠の上部の穴を1で扉内設置用金枠に取り付けたM5ねじに引っ掛ける
3. 扉内設置用取付枠の長穴と金枠のねじ穴をM5ねじ(4本・付属品)で締め付け、扉内設置用金枠上部のねじも締め付ける

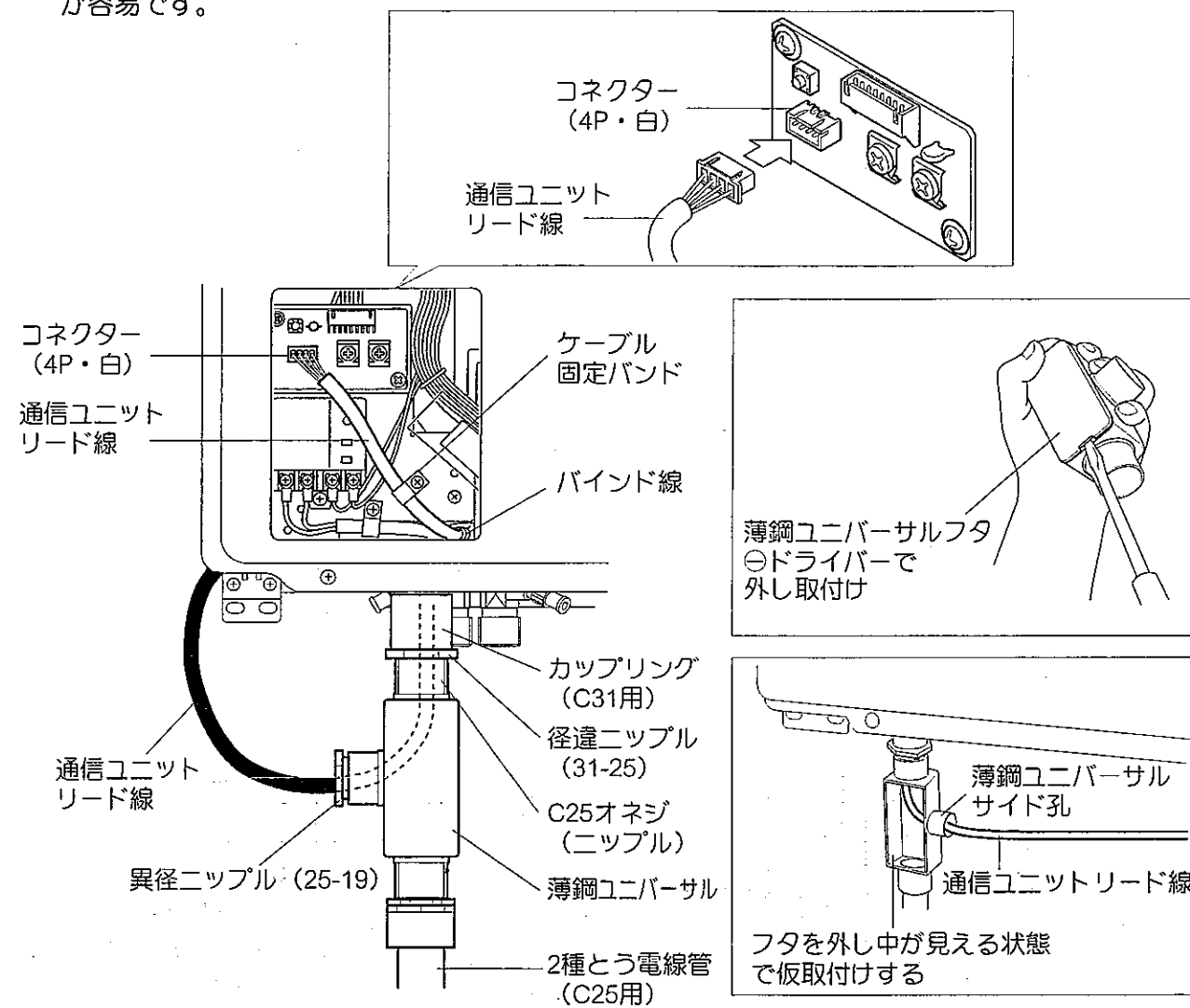


# 通信ユニットの取付 (コードレスリモコン)

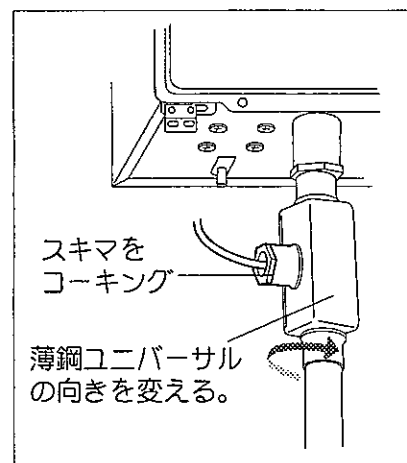
- 通信ユニットの取り付けは、別添付の工事説明書をご参照の上設置してください。  
(GJ-C24・F24シリーズ、GJ-K24シリーズ 22~24ページ)

## ■パイプシャフト内電気配線 (電線管) 工事について

- パイプシャフト内で通信ユニットを機器に取り付ける際には、下記の要領で電気配線を行なってください。
- 薄鋼ユニバーサルは、事前にフタを⊖ドライバーで外した状態で仮取り付けすると、作業が容易です。



- 通信ユニットのリード線を薄鋼ユニバーサルのサイドより電線管接続口を通して機器内に挿入する
- 別添付の工事説明書に従って、通信ユニットのリード線を取り付ける  
(工事説明書 GJ-C24・F24シリーズ 22~23ページ、GJ-K24シリーズ 22~23ページ)
- 通信ユニットのリード線の薄鋼ユニバーサル挿入部の隙間をコーキングして、シールする

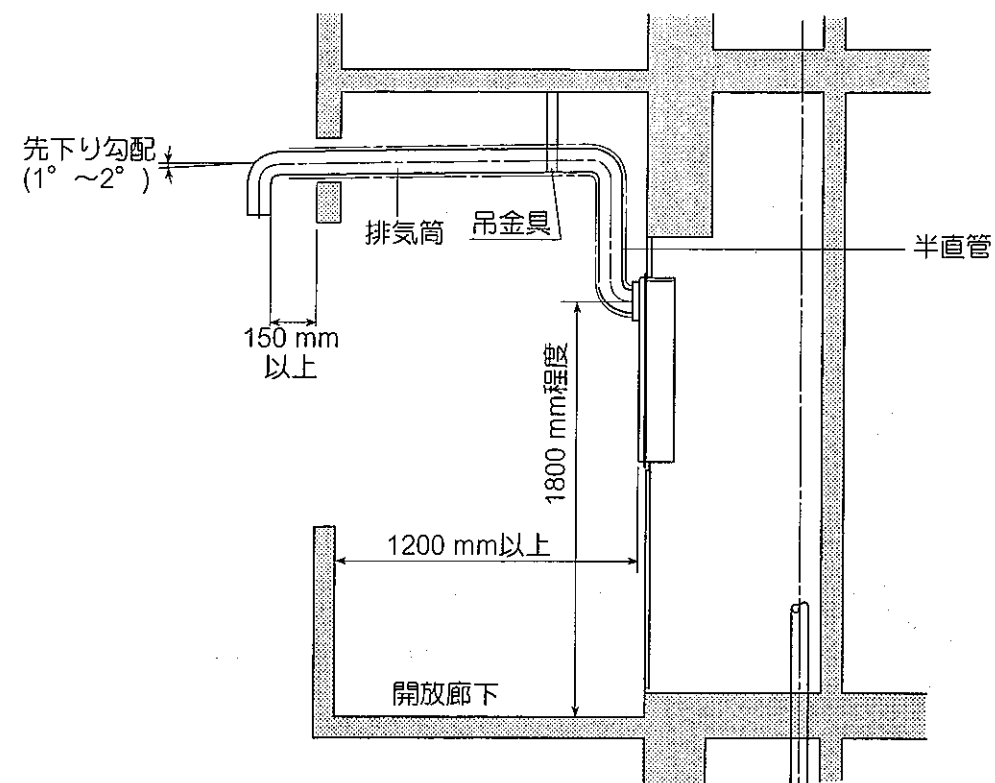


# 排気筒の設置

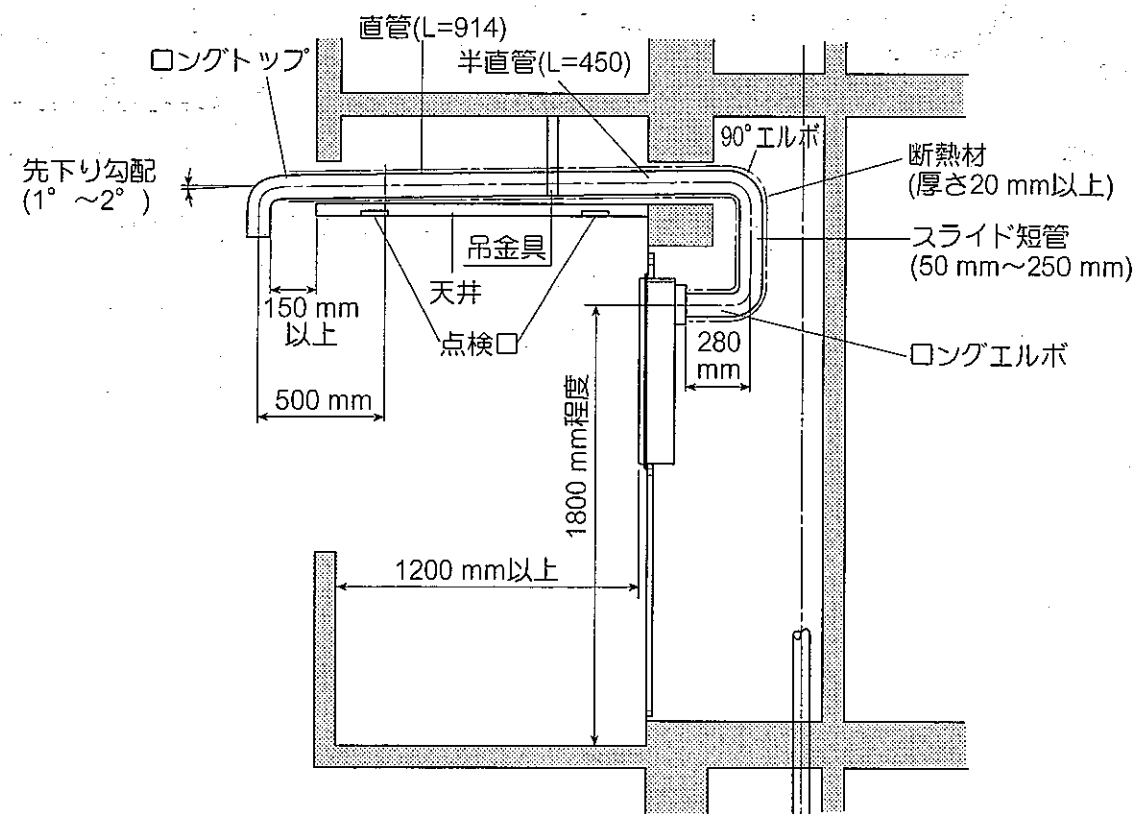
## ■排気筒設置参考図

<Cタイプの場合>

排気延長は7m3曲り以内 (排気トップと機器から1つ目のエルボは曲り数に含みません。)



<Bタイプの場合>



# 排気筒の設置

1. 排気筒設置工事をする場合、φ100 またはφ80用標準排気筒セット(システム部材開発センター扱い)を使用してください。(前方排気、後方排気共用)

2. 排気延長は7 m 3曲りまでとしてください。排気延長の場合下記排気延長用部材(システム部材開発センター扱い)を使用してください。

<20号・24号の場合>

No	φ100用標準排気筒セット AD-2300・O
1	排気口ロングトップ
2	90°エルボ
3	直管 (ℓ = 914)
4	半直管 (ℓ = 457)
5	吊り金具
6	メガネ板
7	断熱材
8	ロングエルボ
9	スライド短管
10	アルミはくテープ

●φ100用排気延長用部材

品名	品番
直管	AD-2301S(ℓ914)
半直管	AD-2301S1(ℓ457)
90°エルボ	AD-2310L
メガネ板	AD-2301G
吊り金具	AD-2310Z
断熱材	AD-1510
スライド短管	AD-2310SS

<16号の場合>

No	φ80用標準排気筒セット AD-20008・O
1	排気口ロングトップ
2	90°エルボ
3	直管 (ℓ = 914)
4	半直管 (ℓ = 457)
5	吊り金具
6	メガネ板
7	断熱材
8	ロングエルボ
9	スライド短管
10	アルミはくテープ

●φ80用排気延長用部材

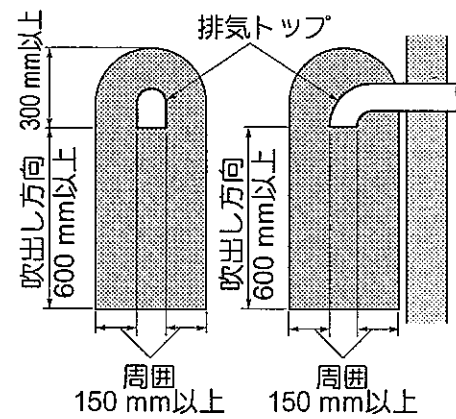
品名	品番
直管	AD-20008S(ℓ914)
半直管	AD-20008S1(ℓ457)
90°エルボ	AD-20008L
メガネ板	AD-20008G
吊り金具	AD-20008Z
断熱材	AD-1508
スライド短管	AD-20008SS

3. 排気トップの周辺について

(1)排気トップの周囲150 mm、吹出し方向600 mmの範囲内に可燃物がないこと。

可燃物がある場合、可燃物を防火構造としてください。

(2)前記(1)に定める範囲の壁面上の投影面内に、窓や換気口など燃焼排ガスが屋内に流入するおそれのある開口部がある場合は、排気トップの吹出し口を、これらから600 mm以上離してください。

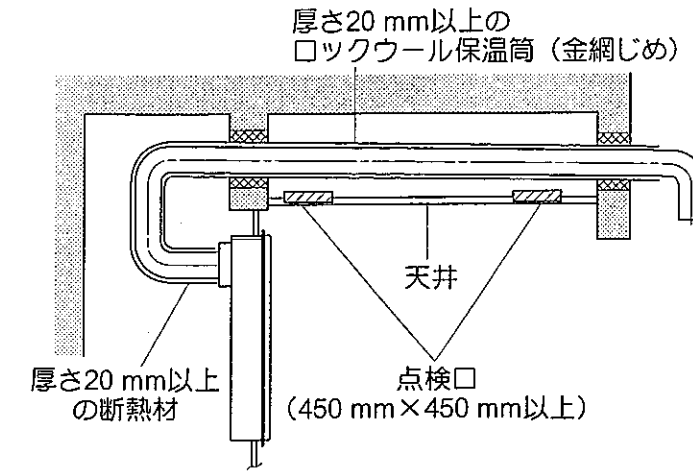


4. 排気筒の接続はリベット止めまたはねじ止めしてアルミはくテープで完全にシールしてください。

5. 排気筒は先端に向けて下り勾配(1~2°)になるように設置してください。

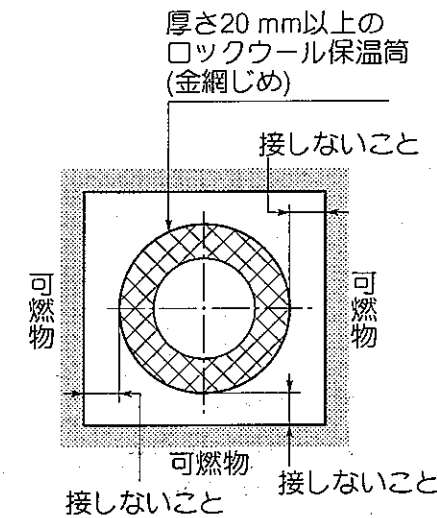
6. 機器本体と排気筒の接続は、給排気筒セットの説明書に従ってください。

## ■隠ぺい空間に排気筒を通す場合

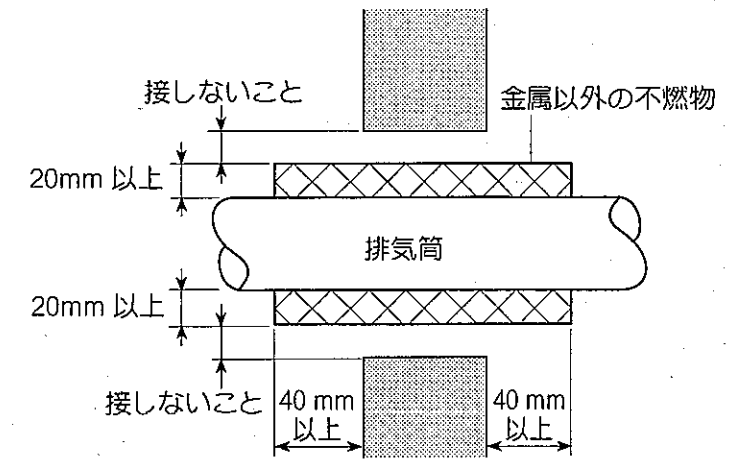


- 点検口の設置場所は、隠ぺい空間への飛び込み口近くと外壁より屋外への出入近くの2カ所以上としてください。その大きさは450 mm角以上としてください。
- 間仕切壁を貫通する場合は、その壁の近くに点検口を設けてください。
- 必ず排気筒に20 mm以上の断熱材を巻いてください。

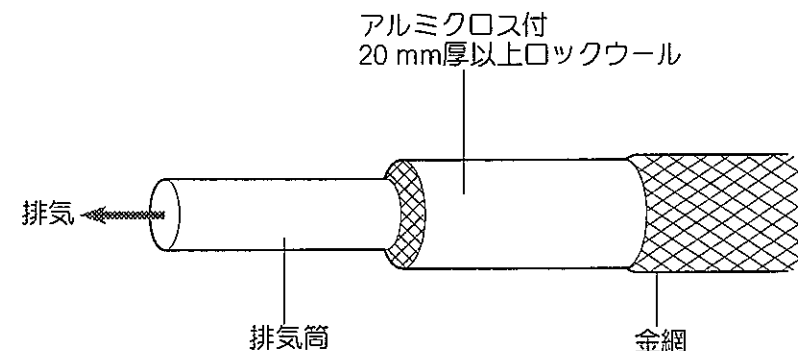
排気筒と可燃物との離隔距離



排気筒と壁貫通部

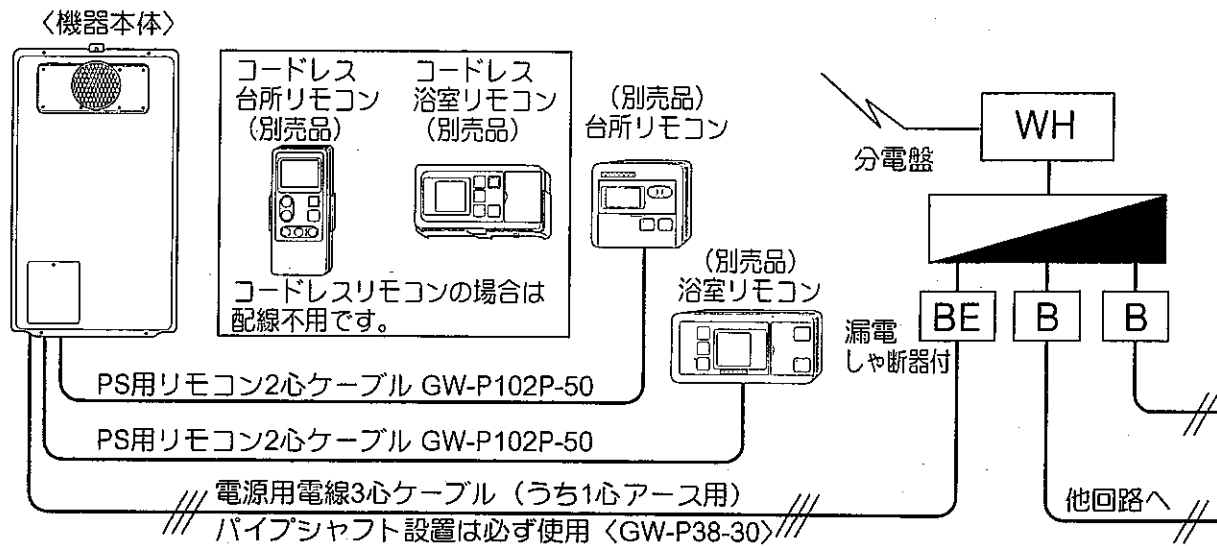


- 排気筒は絶対に屋内に設置しないでください。
- 排気筒には、ガス機器用の排気トップを使用してください。
- 排気筒には防火ダンパーなどは取り付けないこと。



# 電気配線工事

## ■標準工事



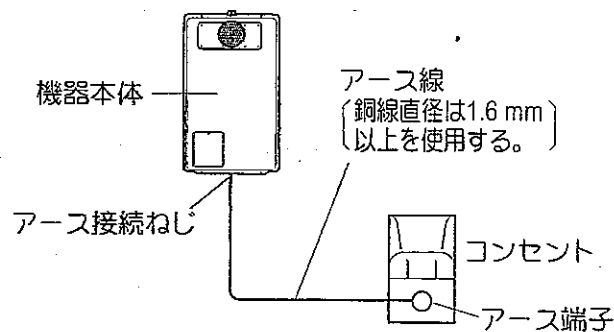
- 使用ケーブルについては別添の工事説明書を参照してください。
- パイプシャフト内に機器の電源電線の配線を行なう場合には電気設備に関する技術基準を定める省令第208条の基準に準じた防爆工事を行なってください。
- この機器にはAC 100 V電源が必要です。またアース（接地）も必要ですから、下記の説明をご理解の上関連法規を遵守して施工してください。  
関連法規：電気設備技術基準 ・ 電気工事士法 ・ 内線規定 ・ 電気用品取締法
- 電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。

## ■アース(接地)工事

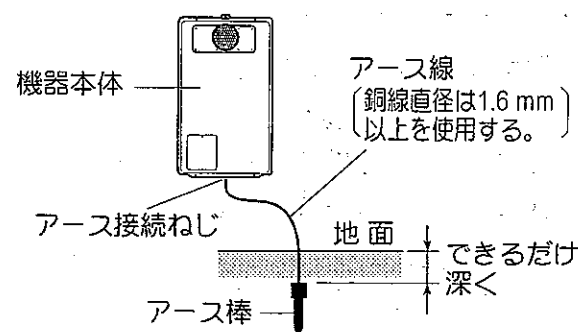
万一の感電事故防止のため、次のいずれかの方法で必ずアースしてください。

1. 分電盤内のアース端子へアース線を接続してください。(3心ケーブルの緑線使用)

### ●コンセントにアース端子が付いている場合



### ●アース棒を使用される場合



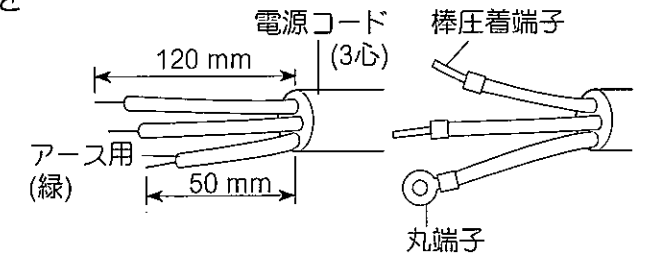
電気設備技術に基づき、必ず電気工事士による第3種接地工事を行なってください。

- 機器本体の底面に「アース」表示、また本体内部には、点火器固定板の中央部に⊕表示で接続端子部を示してありますので、工事に合わせていずれかをご利用ください。  
[お願い]
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路または漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。(法令などで禁止されています。)
- アース端子付コンセントを利用される場合には、接地抵抗値(100 Ω以下)をご確認ください。

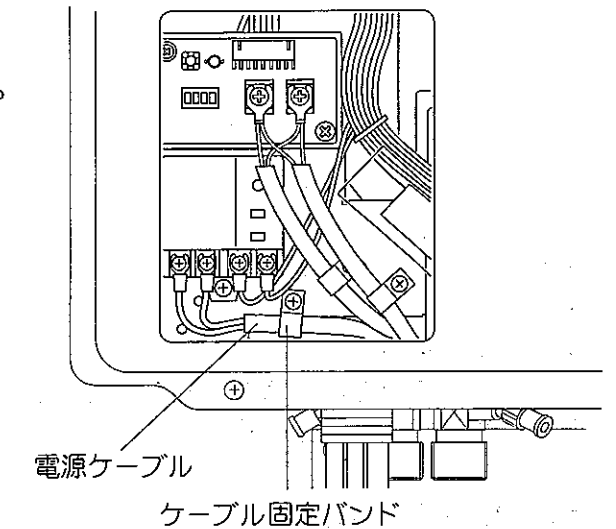
## ■電源接続工事 (3心ケーブルの場合)

電源ケーブルは、PS用電源ケーブルGW-P 38-30(別売品)をご使用ください。

1. 電源ケーブルを右図のように絶縁被覆をはぎとり、心線を出す
2. 電源ケーブルのAC 100 V用心線(黒、白)同梱の棒圧着端子を、アース用心線(緑)は同梱の丸端子をかしめる



- ※配線完了後、機器本体のフロントカバー下部のサービス扉を取り付けてください。(ねじ1本)



# 試点火および試運転

## ■試点火および試運転

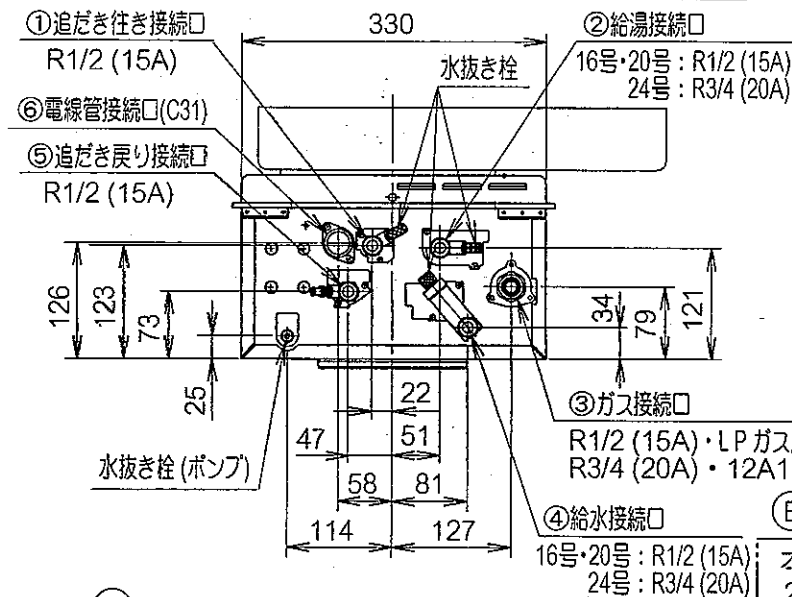
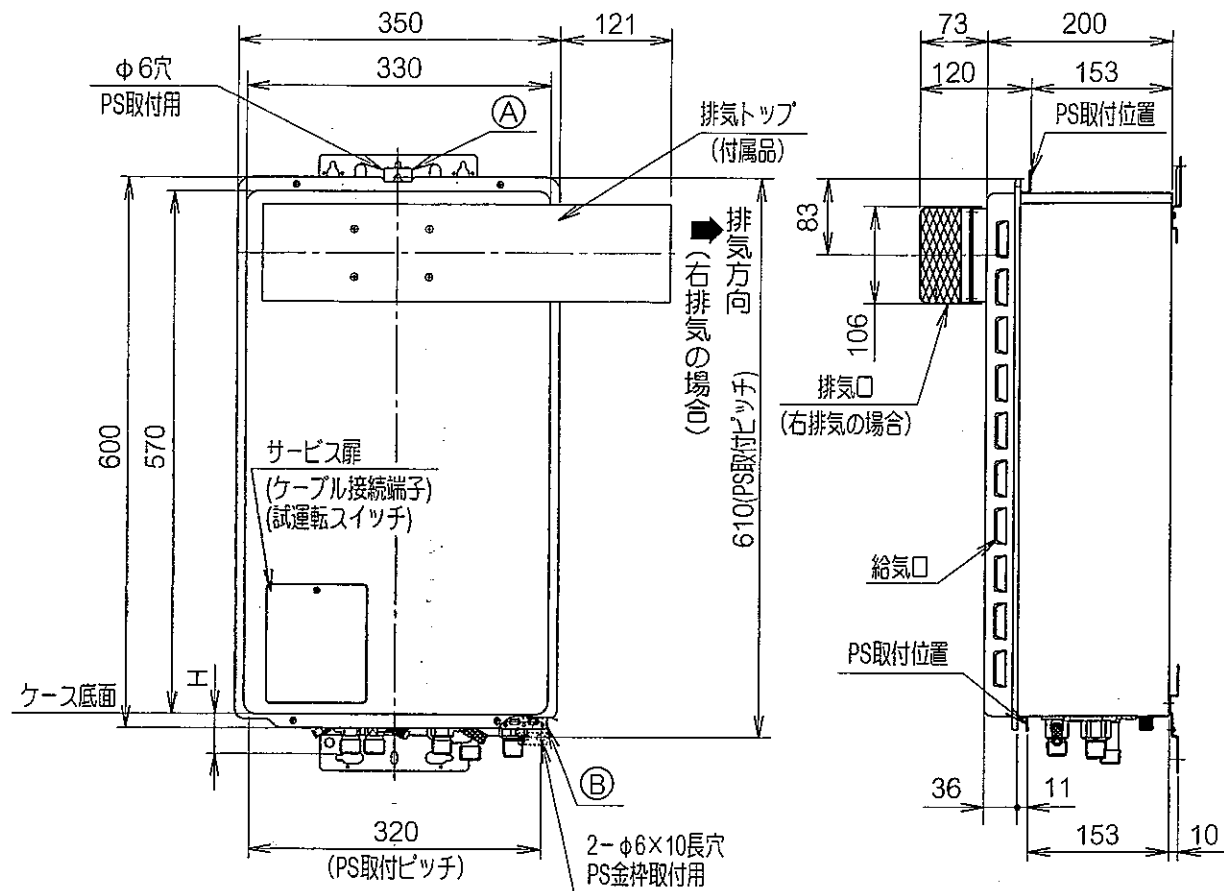
1. ガス配管中の空気抜き  
ガス配管中の空気が抜けるまで火がつきません。給湯栓を「15秒間開く」「3秒間閉じる」操作をバーナーに火がつくまで繰り返してください。
2. 取扱説明書に基づき、試点火および試運転を行なってください。  
(詳しくは、取扱説明書の「初めてお使いになるとき」「使いかた」をお読みください。)
3. 初期運転時に異常が発生しましたら、取扱説明書の「故障かな?」を参照しながら確かめてください。
4. 試運転が終わりましたら、凍結予防のため、水抜きを必ず行なってください。水抜きを忘れた場合は機器が破損することがあります。
5. 初期運転時、フロントカバーを外して点火させた場合、着火音・燃焼音が大きくなる場合がありますが異常ではありません。



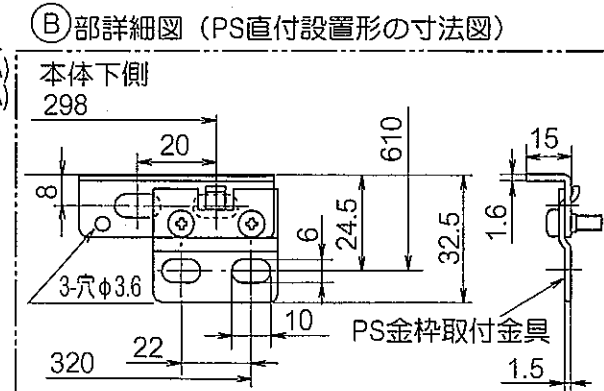
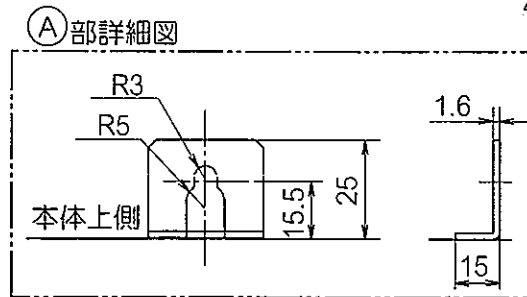
# 外形寸法図

■ GJ-C24A1・GJ-C20A1・GJ-C16A1・GJ-F24A1・GJ-F20A1

※排気トップは、付属の取付けねじを使用して現場にて適切な排気方向に取付けてください。

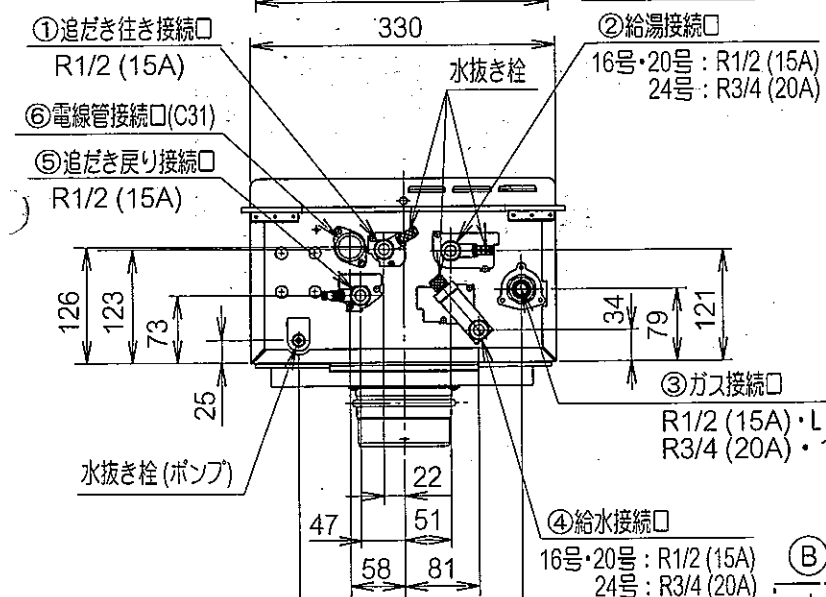
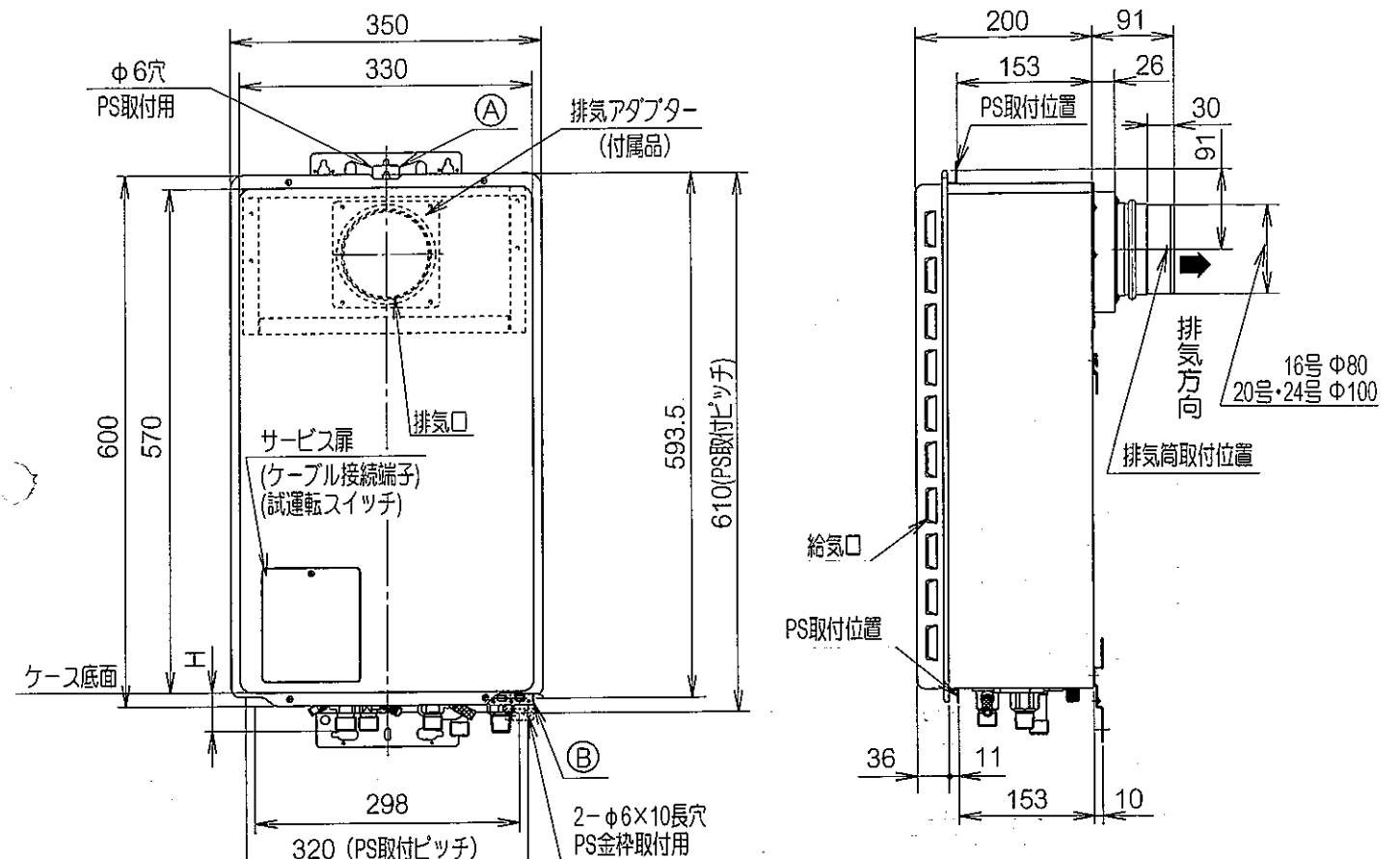


継手名	H寸法
① 追だき行き接続口	44
② 給湯接続口	44
③ ガス接続口	47
④ 給水接続口	51
⑤ 追だき戻り接続口	44
⑥ 電線管接続口	29

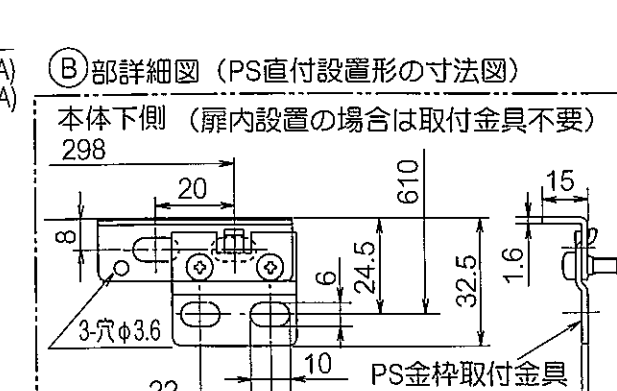
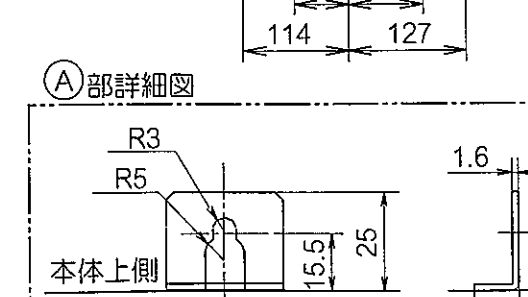


■ GJ-C24B1・GJ-C20B1・GJ-C16B1・GJ-F24B1・GJ-F20B1

※排気アダプターは、付属の取付けねじを使用して現場で取付けてください。

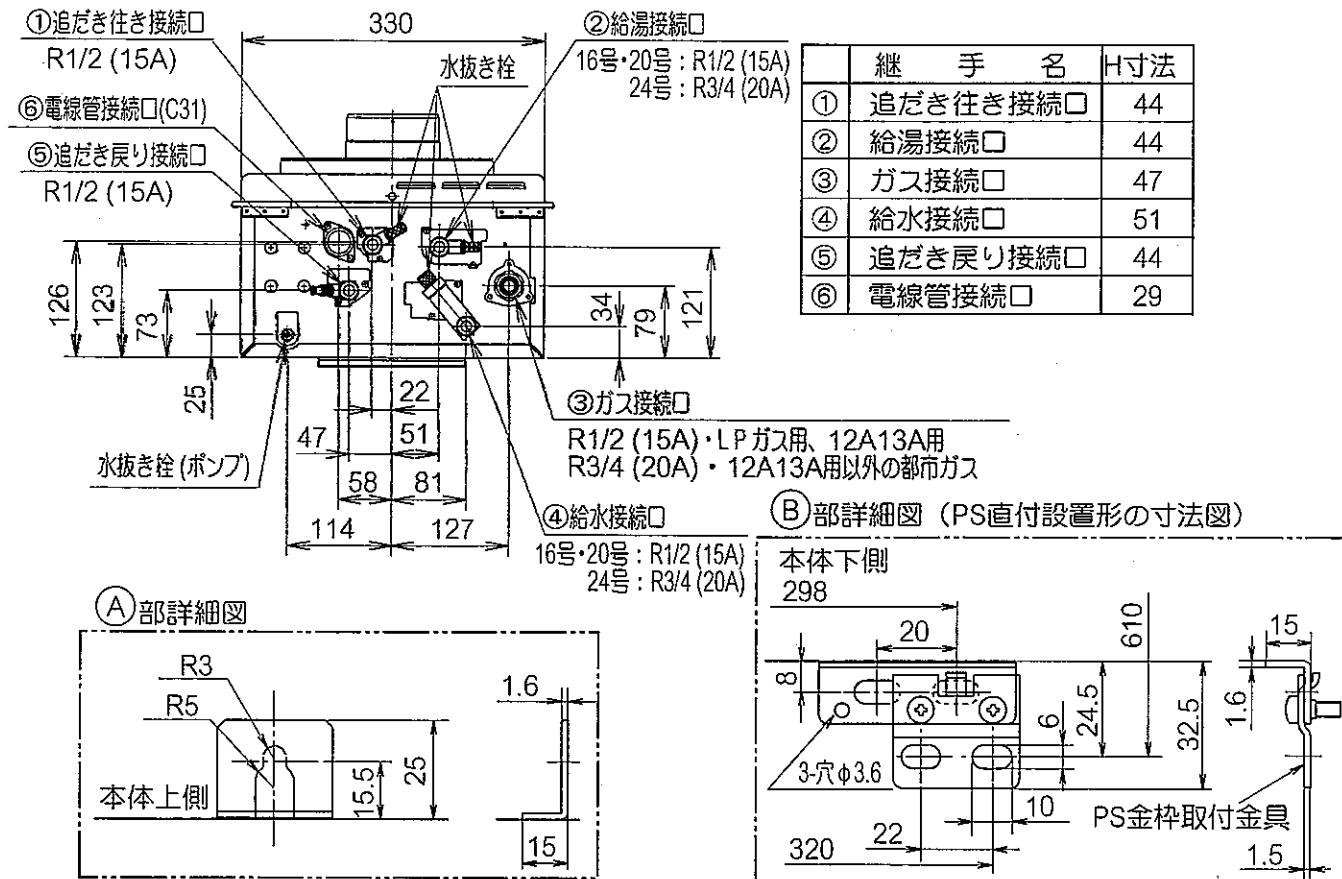
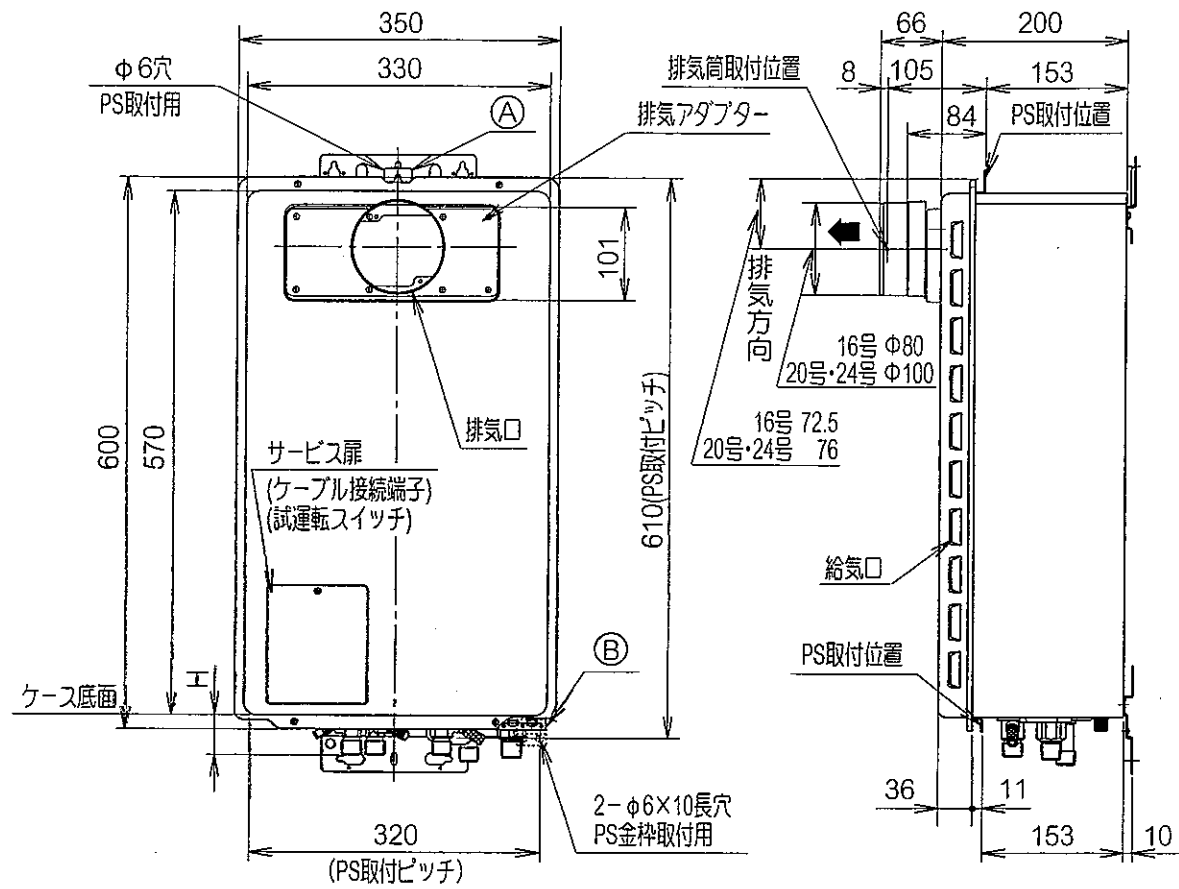


継手名	H寸法
① 追だき行き接続口	44
② 給湯接続口	44
③ ガス接続口	47
④ 給水接続口	51
⑤ 追だき戻り接続口	44
⑥ 電線管接続口	29

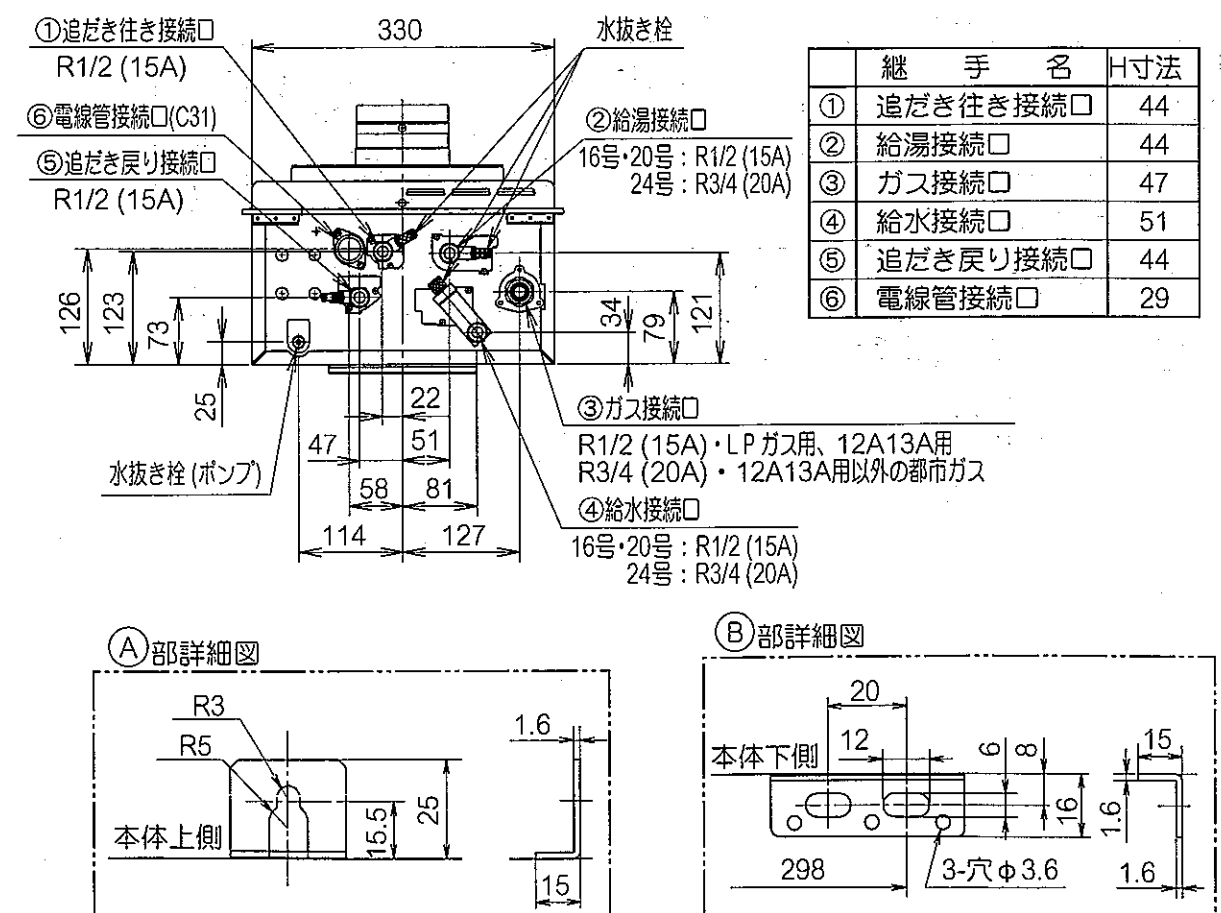
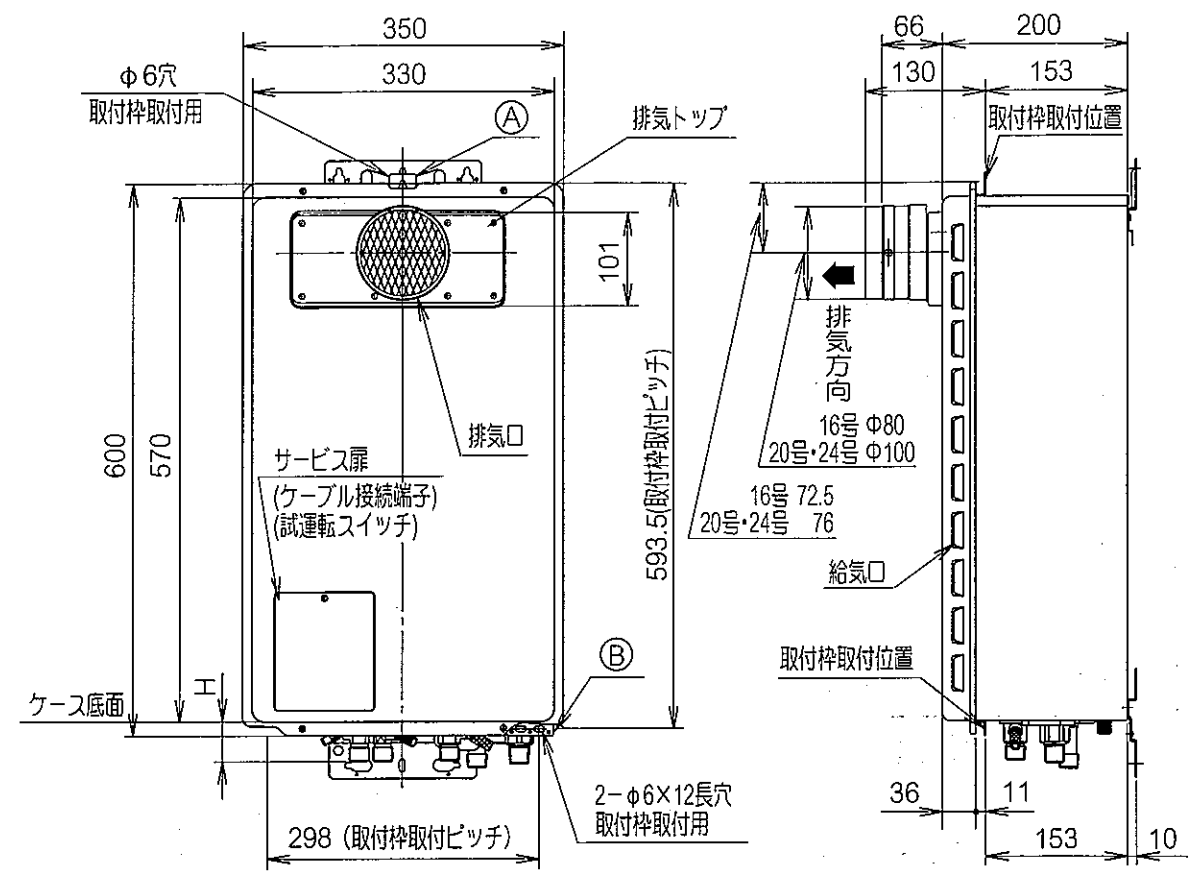


# 外形寸法図

■ GJ-C24C1・GJ-C20C1・GJ-C16C1・GJ-F24C1・GJ-F20C1



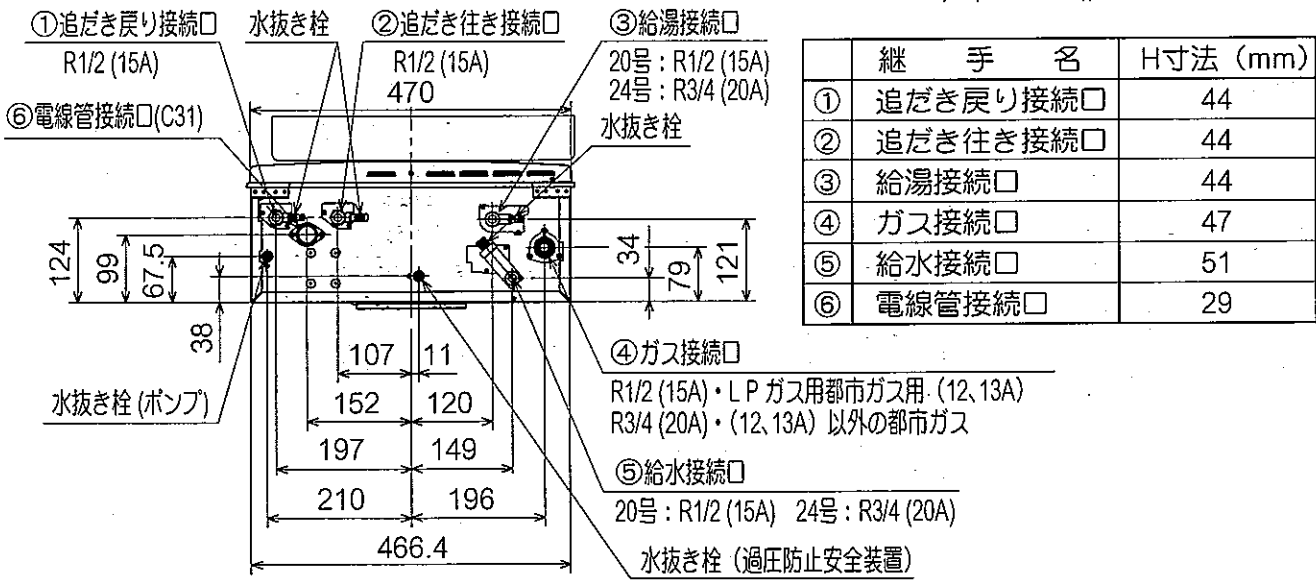
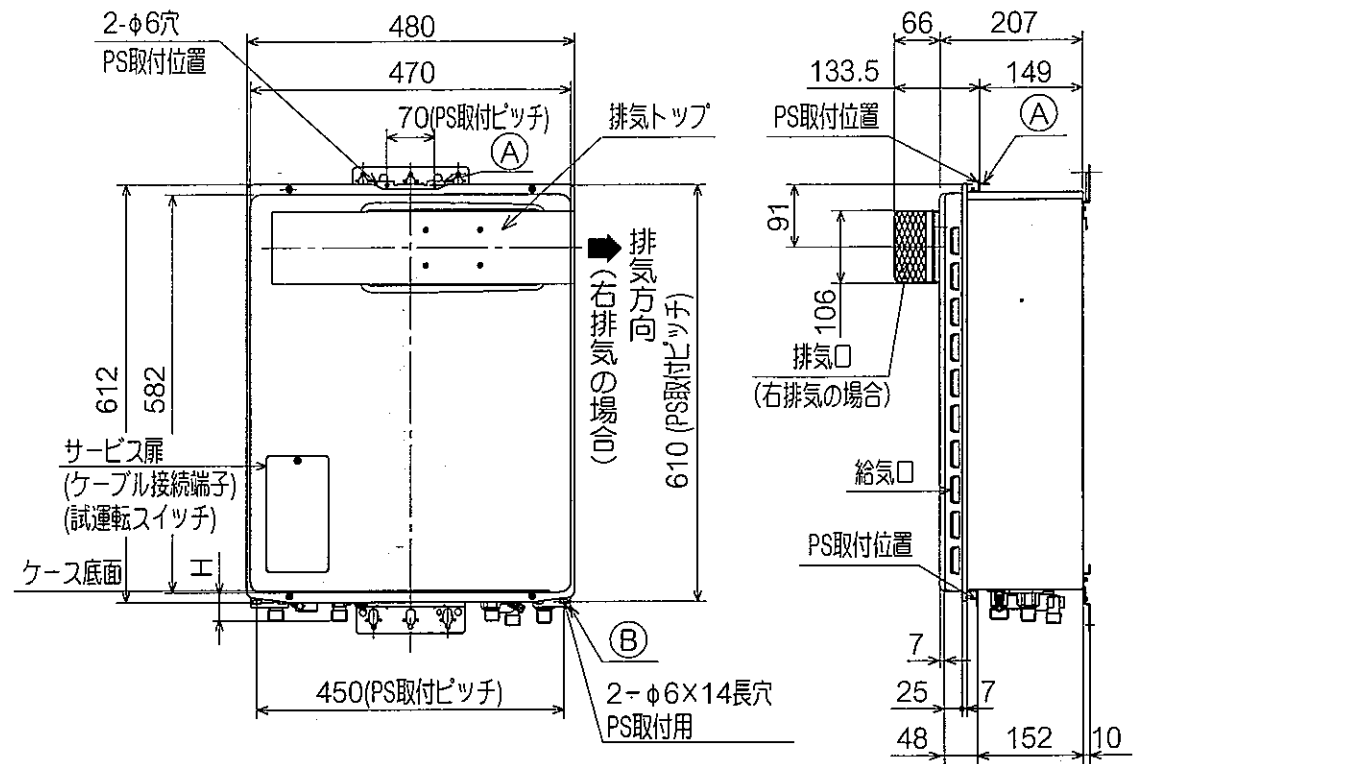
■ GJ-C24D1・GJ-C20D1・GJ-C16D1・GJ-F24D1・GJ-F20D1



# 外形寸法図

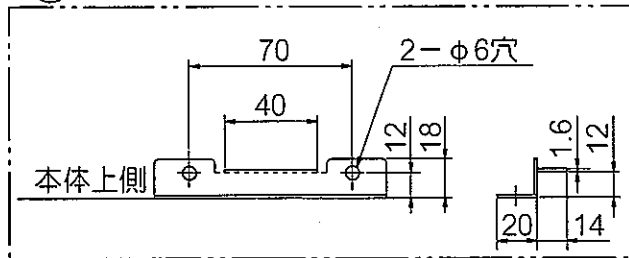
■ GJ-K24A2  
GJ-K20A2

※排気トップは、付属の取付けねじを使用して現場にて適切な排気方向に取付けてください。

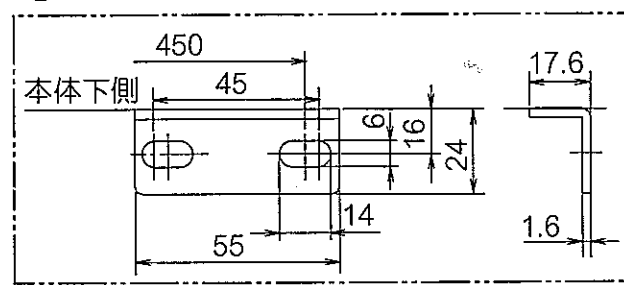


継手名	H寸法 (mm)
① 追だき戻り接続口	44
② 追だき行き接続口	44
③ 給湯接続口	44
④ ガス接続口	47
⑤ 給水接続口	51
⑥ 電線管接続口	29

(A) 部詳細図

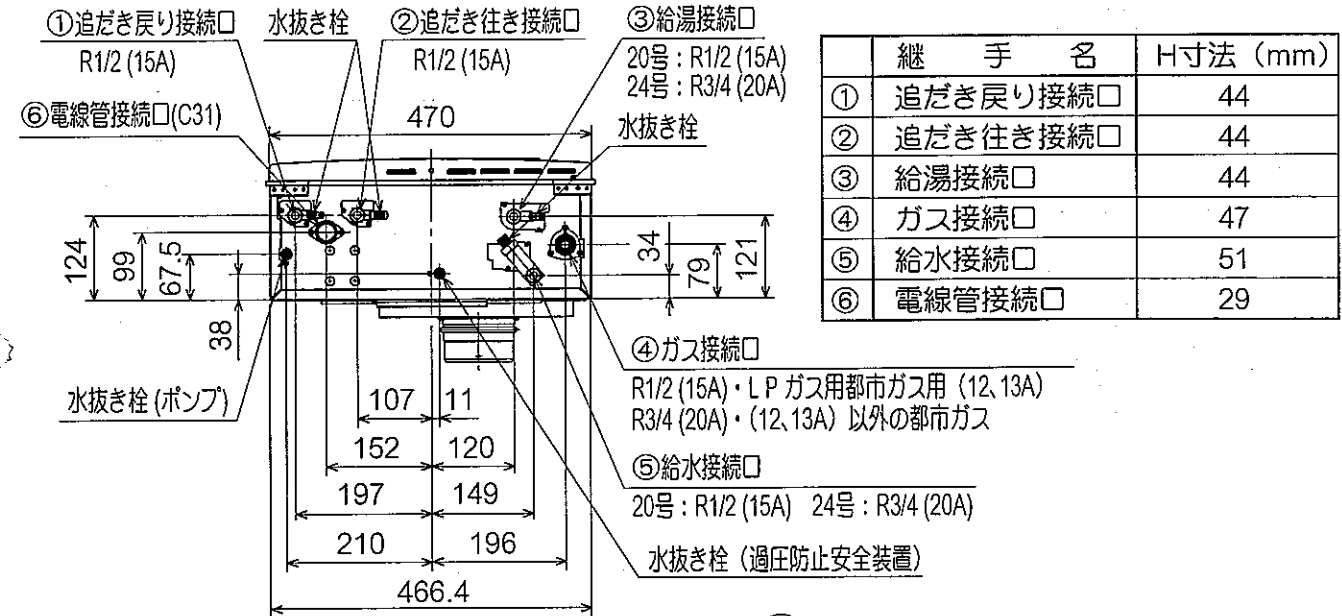
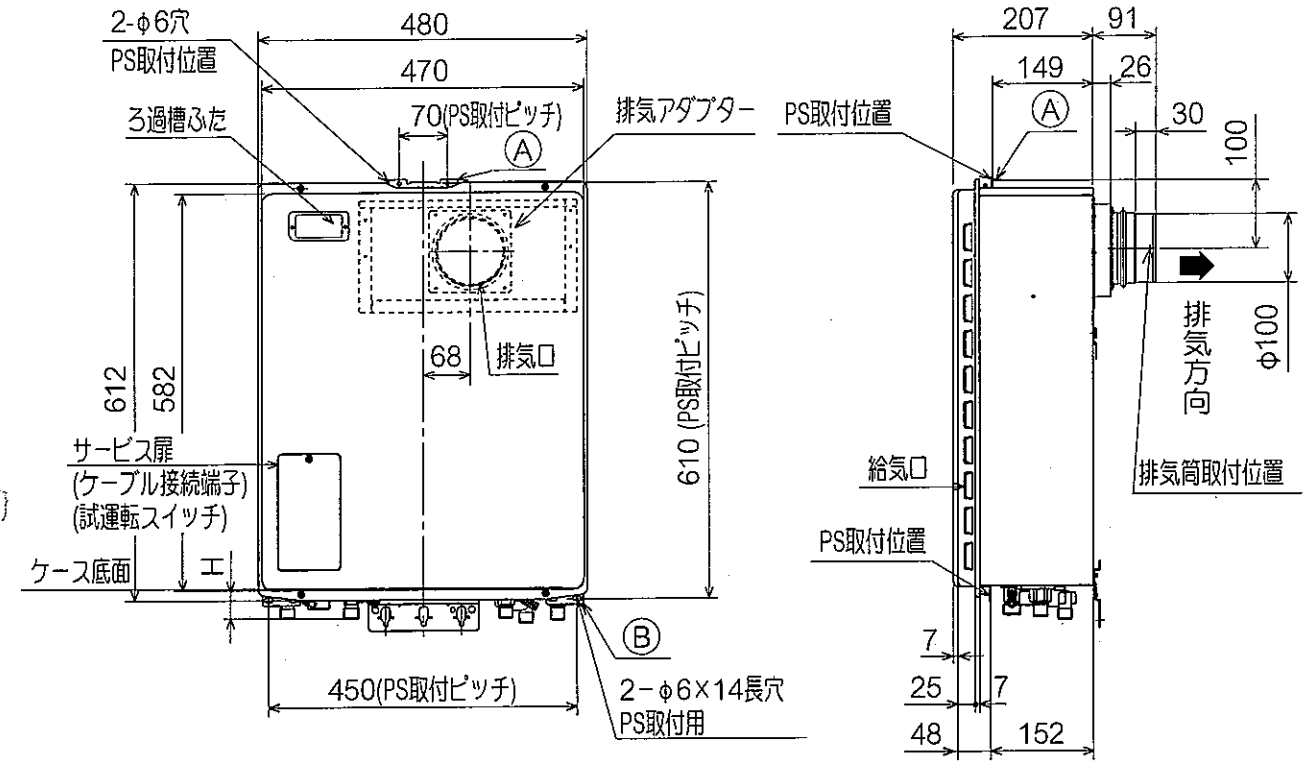


(B) 部詳細図



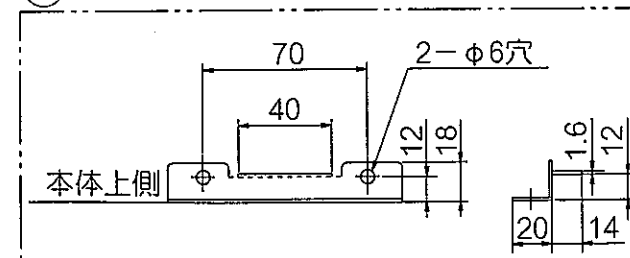
■ GJ-K24B2  
GJ-K20B2

※排気アダプターは、付属の取付けねじを使用して現場で取付けてください。

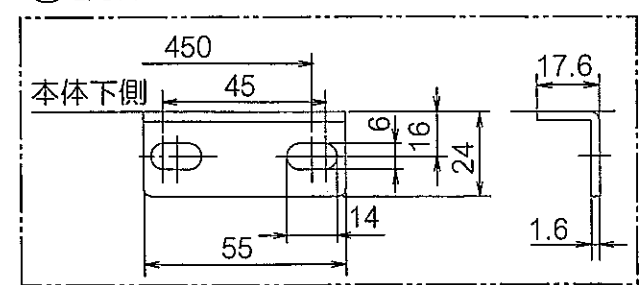


継手名	H寸法 (mm)
① 追だき戻り接続口	44
② 追だき行き接続口	44
③ 給湯接続口	44
④ ガス接続口	47
⑤ 給水接続口	51
⑥ 電線管接続口	29

(A) 部詳細図

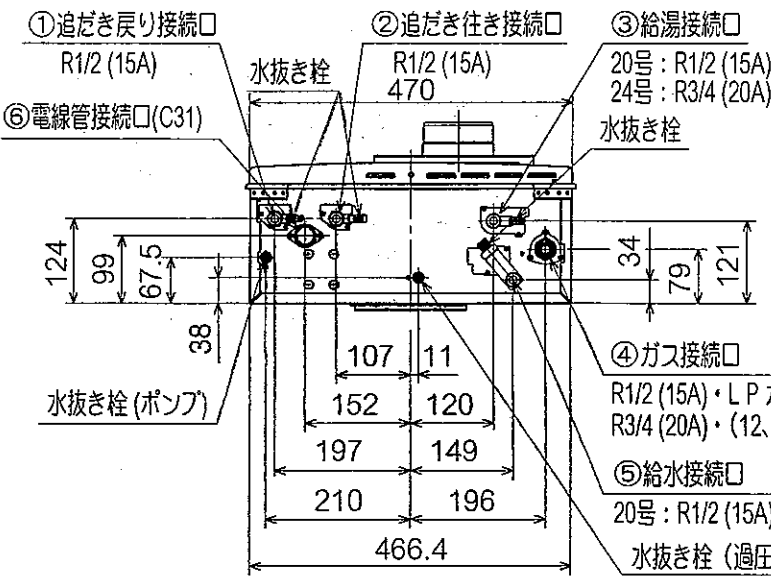
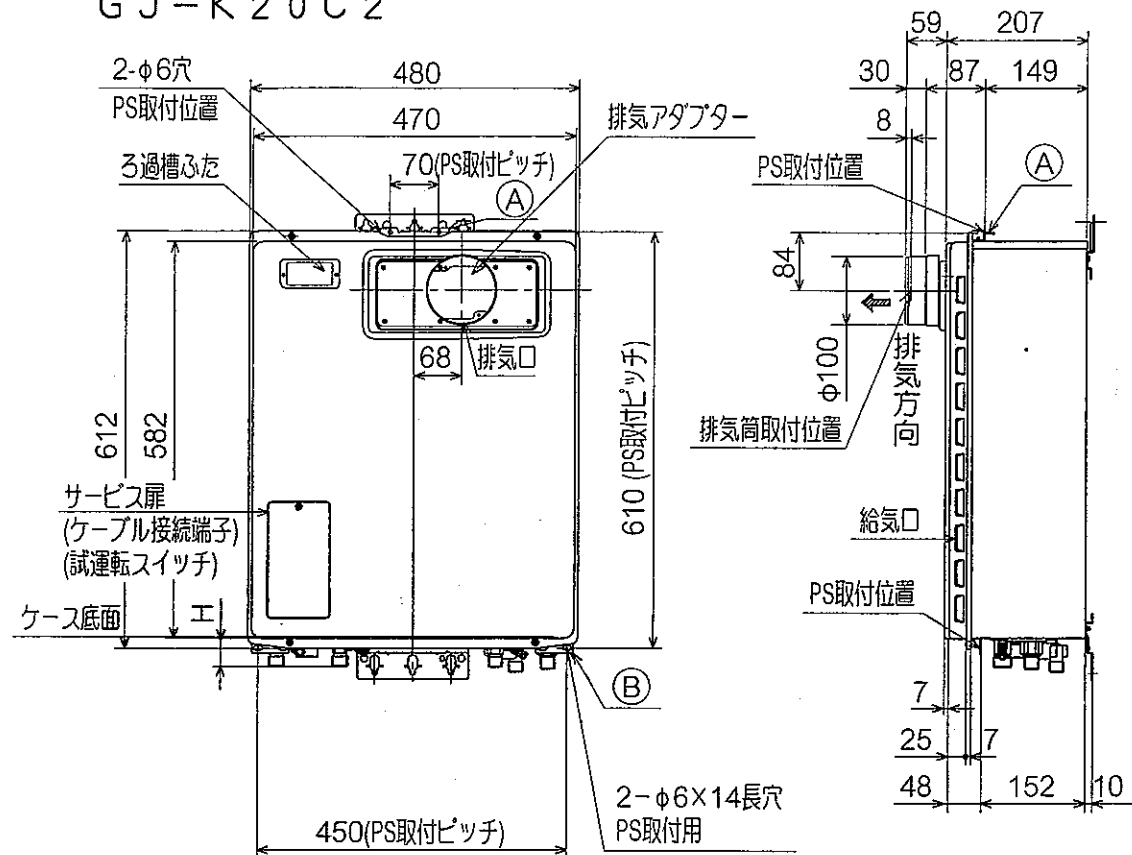


(B) 部詳細図



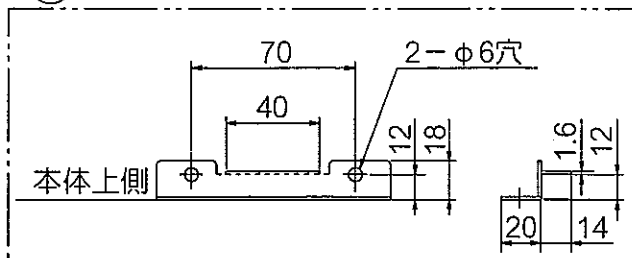
# 外形寸法図

■ GJ-K24C2  
GJ-K20C2

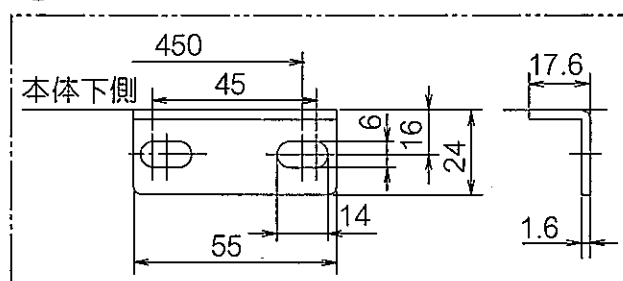


継手名	H寸法 (mm)
① 追だき戻り接続口	44
② 追だき行き接続口	44
③ 給湯接続口	44
④ ガス接続口	47
⑤ 給水接続口	51
⑥ 電線管接続口	29

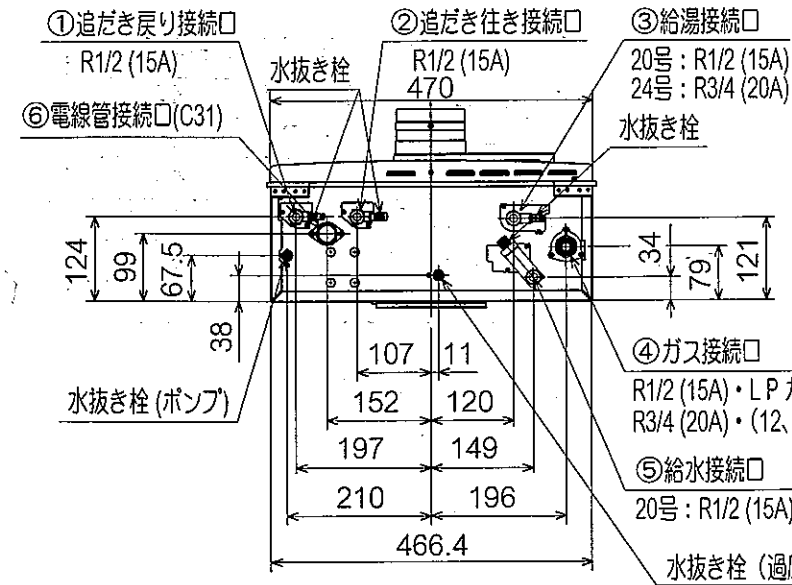
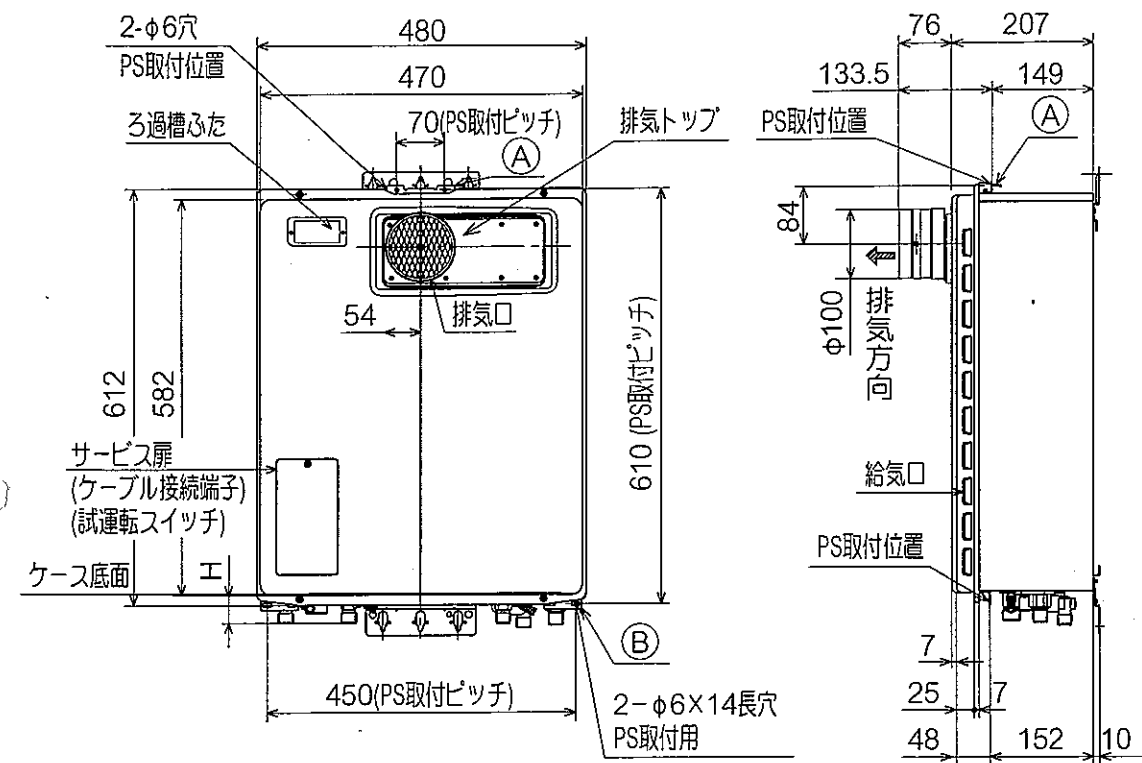
①部詳細図



②部詳細図

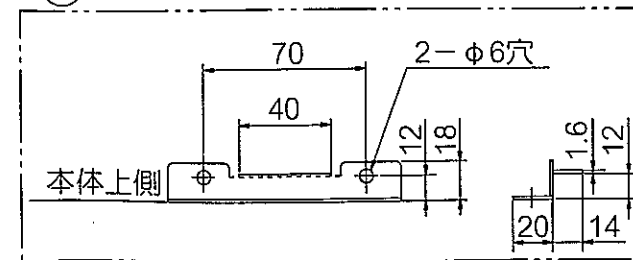


■ GJ-K24D2  
GJ-K20D2



継手名	H寸法 (mm)
① 追だき戻り接続口	44
② 追だき行き接続口	44
③ 給湯接続口	44
④ ガス接続口	47
⑤ 給水接続口	51
⑥ 電線管接続口	29

①部詳細図



②部詳細図

